



X 教員一覧

1 教員一覧

デザイン学部		看護学部	
職位・コース	教員名	職位・領域	教員名
教授	中島 秀之	教授・基礎	樋之津 淳子
教授・人間情報	細谷 多聞	教授・小児	松浦 和代
教授・人間情報	石井 雅博	教授・成人	川村 三希子
教授・人間空間	上遠野 敏	特任教授・成人	中村 恵子
特任教授・人間情報	蓮見 孝	特任教授・母性	宮崎 みち子
教授・人間情報	安齋 利典	教授・管理	猪股 千代子
教授・人間空間	齊藤 雅也	教授・成人	卯野木 健
教授・人間情報	城間 祥之	教授・成人	小田 和美
教授・人間空間	羽深 久夫	教授・在宅	菊地 ひろみ
教授・共通教育	町田 佳世子	教授・地域	喜多 歳子
教授・人間空間	矢部 和夫	教授・基礎	定廣 和香子
教授・人間情報	若林 尚樹	准教授・基礎	大野 夏代
准教授・人間情報	柿山 浩一郎	准教授・成人	貝谷 敏子
准教授・人間空間	椎野 亜紀夫	准教授・成人	神島 滋子
准教授・人間空間	高井 真希子	准教授・成人	菅原 美樹
准教授・人間空間	武田 亘明	准教授・成人	藤井 瑞恵
准教授・人間情報	張 浦華	准教授・基礎	古都 昌子
准教授・人間情報	藤木 淳	准教授・地域	本田 光
准教授・共通教育	松井 美穂	准教授・小児	三上 智子
准教授・共通教育	丸山 洋平	准教授・老年	村松 真澄
准教授・人間情報	三谷 篤史	准教授・精神	守村 洋
准教授・人間空間	森 朋子	准教授・母性	渡邊 由加利
准教授・人間空間	山田 信博	講師・精神	伊東 健太郎
准教授・人間空間	山田 良	講師・成人	工藤 京子
講師・人間空間	石田 勝也	講師・成人	小坂 美智代
講師・人間空間	大島 卓	講師・地域	櫻井 繭子
講師・人間情報	大淵 一博	講師・在宅	高橋 奈美
講師・人間空間	片山 めぐみ	講師・基礎	武富 貴久子
講師・人間情報	金 秀敬	講師・老年	原井 美佳
講師・人間空間	小宮 加容子	講師・基礎	檜山 明子
講師・人間空間	須之内 元洋	講師・母性	森川 由紀
講師・人間情報	福田 大年	講師・管理	矢野 祐美子
講師・人間情報	松永 康佑	講師・母性	山本 真由美
助教・人間空間	金子 晋也	助教・母性	石引 かずみ
助教・人間空間	田島 悠史	助教・成人	柏倉 大作
助教・人間情報	矢久保 空遥	助教・地域	近藤 圭子
		助教・地域	田仲 里江
		助教・小児	牧田 靖子
		助教・在宅	御厩 美登里
		助手・母性	大友 舞
		助手・管理	鬼塚 美玲
		助手・精神	出水 美菜子
		助手・基礎	渋谷 友紀
		助手・基礎	高橋 葉子
		助手・老年	中田 亜由美

※教員一覧の記載内容は教員の申告に基づく



2 教員業績一覧

デザイン学部

中島 秀之

<著書>1.人工知能～その到達点と未来～（共著、平成30年12月、小学館、978-4-09-388622-2）／
2.スマートモビリティ革命未来型AI公共交通サービスSAVS（共著、平成31年2月、公立はこだて未来
大学出版会、978-4-7649-5556-1）

<その他の論文>1.情報処理（平成30年8月、情報処理学会59巻、9号、pp.776—777）

<実務関係報告書>1.AI白書2019（平成30年12月、KADOKAWA）

<学会役員就任状況>PRICAI（運営委員長）／サービス学会（編集委員長）

<所属学会・研究会>人工知能学会／日本認知科学会／情報処理学会／サービス学会／観光情報学会／
日本ソフトウェア科学会／日本工学会／PRICAI（環太平洋人工知能国際会議）

<専門職者・企業・展覧会等への支援>未来AI研究センター顧問 就任（平成30年4月1日～平成31年
3月31日、はこだて未来大学）／株式会社未来シェア取締役 就任（平成30年4月1日～平成31年3月31
日）／日本学術会議事務局長 就任（平成30年4月1日～令和2年9月30日）／産学連携推進機構理事 就
任（平成30年4月1日～令和2年12月31日）／AI白書編集委員会委員 就任（平成30年4月6日～令和2年
3月31日、独立行政法人情報処理推進機構）／未踏事業審査委員会委員 就任（平成30年4月16日～平成
31年3月31日、独立行政法人情報処理推進機構）／本田財団理事 就任（平成30年6月22日～令和元年6
月30日）／トヨタ技術会「技術者の1日」指導教官「AI／ビッグデータ」の発表に対する指導」（平
成30年7月13日）／「経団連フォーラム21」7月講座 講師「人とAIの未来」（平成30年7月31日、一般
社団法人経団連事業サービス）／札幌AIラボ エグゼクティブ・アドバイザー 就任（平成30年8月7日
～平成31年3月31日、一財）さっぽろ産業振興財団）／2018年度科学セミナー 講師「情報処理技術と
してのAI」（平成30年8月11日、日本物理学会）／自治労研究会 講師「AIと自治体行政」（平成30年
10月18日、全日本自治団体労働組合）／科学者会議科学シンポジウム 講演「人工知能（AI）の歴史と
未来」（平成30年10月28日、日本科学者会議北海道支部）／札幌市立病院院内講演（平成30年11月6
日）／Hope講演（平成30年11月14日、道総研プラザ）／2018年度AXIES関係イベント 講師（平成30
年11月20日、一般社団法人大学ICT推進協議会）／ViEW2018特別講演（平成30年12月6日、公益社団
体法人精密工学会）／警察大学校での講演 講師（平成30年12月18日）／Singularity U Kyoto Chapter
講師（平成31年1月14日、Impact Hub Kyoto）／札幌日経懇話会定例会（45周年記念会）講演（平
成31年1月28日、日本経済新聞社札幌支社）／ひろしまIT融合フォーラム2019 講演（平成31年3月20
日）

細谷 多聞

<学会発表>1.児童のカッターナイフ使用の習熟度向上に効果的な教示方法の研究（共同、平成30年6
月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／2.触ることを促すデザインの研究（共同、平成30
年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）

<学会座長就任状況>日本デザイン学会第65回春季研究発表大会（平成30年6月、日本デザイン学会）

<論文査読・学会抄録査読>1.デザイン学研究作品集（4件、日本デザイン学会）

<学会役員就任状況>日本デザイン学会（全国理事）

<講演会・講習会活動>昭和のデザイン

石井 雅博

<学会研究発表>1.見上げ・見下げによる重心動揺中心の変位（電子情報通信学会）

<論文査読・学会抄録査読>1.The Journal of General Psychology（1件）／2.International Journal
of Entertainment Technology and Management（1件）／3.基礎心理学会（1件）

<学会役員就任状況>International Journal of Entertainment Technology and Management
（Editorial Board）／日本視覚学会（世話人）

<学術集会運営>電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会

<専門職者・企業・展覧会等への支援>委員（視覚科学技術コンソーシアム）



上遠野 敏

＜作品発表＞1.閉山から二十四年。苔のむすまで（単独、平成30年9月、赤平アートプロジェクト2018）住友赤平炭鉱ネオン再び 他3作品（単独、平成30年9月、赤平アートプロジェクト2018）
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞望郷の樺太慰霊碑の監修、審査、コンペ運営（通年、全国樺太連盟）／地域の魅力発見プロジェクト：キャラクターグッズ開発、アートディレクター（平成30年5月14日～15日、三吉神社例大祭を楽しくする会）／産学連携フラワーカーペットデザインと実施（平成30年6月23日～24日、サッポロフラワーカーペット実行委員会）／赤平アートプロジェクト2018アートディレクター（平成30年9月8日～10月8日、炭鉱の記憶推進事業団）／産学連携エコバックのデザインコンペ運営（平成30年11月5日～20日、土屋ホームトピア）／JRタワーアートボックス2019 審査委員（平成31年1月16日～2月13日、札幌駅総合開発株式会社）／八剣山ワインラベルコンペ2018 審査委員（平成31年1月30日、八剣山ワイナリー）

安齋 利典

＜学会発表＞1.造形教育におけるインダストリアルクレイ活用の一考察（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／2.HCDに基づいたGPS音声操作バリアフリー案内ネックレスの提案（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／3.デザインマネジメント活動を捉えるフレームの探索（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／4.IoT機能を中心したプロジェクターのデザイン提案（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／5.食のユーザー体験価値の向上に関する研究（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／6.地域創生に向けたユニバーサル製品（プロトタイプ）の提案（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／7.視覚的対話における落書コミュニケーションの活用（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／8.デジタル時代のアナログ教育（単独、平成30年10月、2018年度日本デザイン学会秋季企画大会）／9.食の情緒的価値の再認識に関する研究（共同、平成31年2月、感性フォーラム札幌2019）

＜学会研究発表＞1.AIRDO CIマニュアル改訂と就航20周年記念ステッカーの提案（平成30年11月、2018SCU産学官金研究交流会）／2.地域創生に向けたユニバーサル製品（プロトタイプ）の提案（平成30年11月、2018SCU産学官金研究交流会）

＜学会座長就任状況＞第3会場「デザインと教育」（平成30年10月、芸術工学会2018年度秋期大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.芸術工学会誌（1件、芸術工学会）

＜学会役員就任状況＞芸術工学会（理事）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／芸術工学会／道具学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞株式会社AIRDO 就航10周年「叶える翼」ステッカー デザイン（平成29年12月15日～平成30年5月31日、株式会社AIRDO）／ユニバーサル製品開発（平成30年4月6日～平成31年3月31日、旭川ウェルビーイング・コンソーシアム）／厚真町企画デザインセミナーワークショップ（平成30年6月7日～8月25日、厚真町町役場）／ZEB/ZEH時代のライフスタイル研究（平成30年8月27日～平成31年3月31日、三菱電機株式会社）／No Maps 2018 Conference札幌の学生VS東京のマーケター（平成30年10月10日、公益社団法人日本アドバイザーズ協会 Web広告研究会）

齊藤 雅也

＜学術論文＞1.夏季における中学生の想像温度と熱環境適応プロセスの関係（共著、平成31年2月、日本建築学会環境系論文集、84巻、756号、pp.171—178）

＜調査研究報告書＞1.布製天井による放射併用空調システムの空調効果に関する研究（単著、(株)山下設計 受託研究報告書、平成31年2月、札幌市立大学）／2.新ゾウ舎およびホッキョクグマ館の各展示技術の効果に関する研究（共著、札幌市円山動物園 受託研究報告書、平成31年2月、札幌市立大学）／3.木造オフィスのクリマデザインに関する研究（単著、(株)遠藤建築アトリエ 受託研究報告書、平成31年2月、札幌市立大学）／4.北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究（共著、札幌市円山動物園 受託研究報告書、平成31年2月、札幌市立大学）

＜学会発表＞1.外断熱建築の夏季温熱環境のエクセルギー評価（従共同発表者、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）／2.療養環境における入院患者の快・不快感に関する研究 その1.病



床の熱環境と患者の快・不快感（従共同発表者、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）
 /3.療養環境における入院患者の快・不快感に関する研究 その2. 病床照度と患者の明るさ感・快適感（従共同発表者、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）
 /4.ヒトの想像温度・人体エクセルギー消費加速による熱環境適応の研究（従共同発表者、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）
 /5.夏季の屋外移動時に得られる「涼しさ」感の実測と考察（従共同発表者、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）
 /6.拡張キャンパス型地域創生デザインの試行「ツーリズム」（従共同発表者、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）
 /7.ヒトの想像温度の形成プロセスに関する考察（主共同発表者、平成30年9月、日本建築学会大会学術講演会）
 /8.ヒトの想像温度と人体エクセルギー評価による熱環境適応の研究（従共同発表者、平成30年9月、日本建築学会大会学術講演会）
 /9.夏季の室内外気候がヒトの温熱的快に与える影響 札幌・熊本の通風室・冷房室における被験者実験（従共同発表者、平成30年9月、日本建築学会大会学術講演会）
 /10.中学生の想像温度と熱環境適応プロセスの関係についての考察（従共同発表者、平成30年9月、日本建築学会大会学術講演会）
 /11.伝統的住居における増改築の現状と課題-ベトナム・ドゥオンラム村における集落保存に関する研究その1（従共同発表者、平成30年9月、日本建築学会大会学術講演会）
 /12.伝統的住居における増改築の現状と課題-ベトナム・ドゥオンラム村における集落保存に関する研究その2（従共同発表者、平成30年9月、日本建築学会大会学術講演会）
 /13.ベトナム・ハノイ郊外の住宅における温熱環境と住まい方の調査研究（主共同発表者、平成30年10月、日本太陽エネルギー学会）
 /14.特別豪雪地帯の高齢者を対象とした学官連携による健康啓発事業の実践報告（従共同発表者、平成30年10月、日本公衆衛生学会総会）
 /15.特別豪雪地帯に居住する高齢者への健康教育実施の一考察（従共同発表者、平成30年10月、日本公衆衛生学会総会）
 /16.Characteristics of Cognitive Temperature Scale under the Thermal Adaptation in Summer（主共同発表者、平成30年12月、Passive and Low Energy Architecture）
 /17.Radiant Exergy Analysis on the Process of Human Adaptive Thermal Comfort in Summer（従共同発表者、平成30年12月、Passive and Low Energy Architecture）
 /18.夏季の室内外における着衣外表面での放射・対流エクセルギーの特徴（従共同発表者、平成31年3月、空気調和・衛生工学会北海道支部学術講演会）
 /19.断熱性・蓄熱性を有する建築の窓システムの運用と熱的快適性に関する研究（従共同発表者、平成31年3月、空気調和・衛生工学会北海道支部学術講演会）

＜学会座長就任状況＞日本建築学会大会学術講演会（平成30年9月、日本建築学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会環境系論文集（2件、日本建築学会）/2.エネルギー・資源学会論文集（1件、エネルギー・資源学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（バイオフィリックデザイン小委員会 主査）/日本建築学会（環境ライフスタイル普及小委員会 委員）/Low Ex Network（委員）/空気調和・衛生工学会（運営委員）/日本建築学会（北海道支部環境工学専門委員会 委員）

＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部環境工学専門委員会主催 第12回環境工学系・卒業論文発表会/空気調和・衛生工学会北海道支部セミナー

＜講演会・講習会活動＞スーパーサイエンスハイスクール「SSH特別実験」「ペットボトルハウスで温房・涼房を考える」（平成30年12月18日）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞大倉山クリスタルハウス及び札幌オリンピックミュージアム改修工事等に係る基本及び実施設計のプロポーザル案作成支援「設計プロポーザル案「Jump」立案（結果は不採用）」（平成30年3月～4月、スタジオ・シンフォニカ、㈱札幌振興公社）/医療・福祉のクリマデザイン（平成30年4月21日、㈱ピーエス）/第5回クリマデザイン研究会 講師「医療・福祉のクリマデザイン、オレンジリビングベースの室内気候・活動」（平成30年5月10日、クリマデザイン研究会）/看護臨床分野に対しての室内温熱環境デザイン面に関する学術的支援「「病床の熱環境と患者の快・不快感」「病床照度と患者の明るさ感・快適感」」（平成30年5月14日、9月3日、北のケア環境研究会）/第2回学びの会 講師「ソフトウェア「ホームズ君」の解説」（平成30年5月15日、北方建築学びの会）/Hokkaido Nikken Sekkei May Forum 医療・看護・福祉のクリマデザイン（平成30年5月25日、㈱北海道日建設計）/社内研修・講師：動物たちの暮らしとクリマデザイン（平成30年5月29日、㈱日本設計）/JIAアフタヌーンセミナー 建築家 船木幹也講演会（開催支援）「建築と著作について」（平成30年12月1日、公益財団法人日本建築家協会北海道支部）/平成29年度 BIS養成講習会（養成講習会 講師）「開口部の計画、防暑計画」（平成30年12月4日、平成31年1月11日、17



日、北海道建築技術協会) / 寒冷地エアコンの可能性について(北海道の住宅性能、暖房の実状、温熱環境による快・不快等について)「北海道の住宅性能、暖房の実状、温熱環境による快・不快等について相談、意見交換」(平成30年12月19日、パナソニック株) / Low Exergy System (低エクセルギー利用システム) 研究会「低エクセルギー利用システム(光環境)」(平成31年1月29日、LEXS研究会) / 特別会員(学術的支援)(特定非営利活動法人 外断熱推進会議(EiPC)) / 建築環境分野 専門委員(北海道トップランナーネットワーク構築会議(HTNC))

城間 祥之

〈学会発表〉1.見たい、見せたい 魅せる百人一首 一題材の魅力を伝える擬人化作品の制作(共同、平成30年11月、日本感性工学会北海道支部学生会第6回研究発表会) / 2.テキストマイニングによる「地域創生デザイン」志向潜在知識抽出に関する研究 一札幌市南区の65歳以上住民を対象とした意識調査データを分析例として(共同、平成31年2月、感性フォーラム札幌2019)

〈学会研究発表〉1.大容量文書データのテキストマイニング分析 一札幌市南区在住65歳以上高齢者の意識調査データを対象として(共同、平成30年11月、SCU産学官金研究交流会)

〈学会座長就任状況〉第20回日本感性工学会大会 査読セッション(単独、平成30年9月、日本感性工学会) / 第14回日本感性工学会春季大会 査読セッション(単独、平成31年3月、日本感性工学会)

〈学会役員就任状況〉日本感性工学会(第11期・第12期理事) / 日本感性工学会(北海道支部支部長)

〈学術集会運営〉感性フォーラム札幌2019(平成31年2月開催) / 日本感性工学会北海道支部学生会第6回研究発表会 / 第20回日本感性工学会大会 / 第14回日本感性工学会春季大会

〈所属学会・研究会〉日本感性工学会 / 芸術工学会 / 日本デザイン学会 / 情報処理学会 / 日本設計工学会 / 精密工学会 / IEEE

町田 佳世子

〈学術論文〉1.コミュニケーション能力の構造に対する認識の相違一企業と大学生によるコミュニケーション能力評価の結果をもとに(単著、平成30年7月、札幌市立大学研究論文集、12巻、1号、pp.29-35) / 2.夏季における中学生の想像温度と熱環境適応プロセスの関係(共著、平成31年2月、日本建築学会環境系論文集、756巻、pp.171-178)

〈辞書・辞典〉1.英語で案内する日本の伝統・大衆文化(平成30年7月、三省堂)

〈調査研究報告書〉1.専門家による知の伝達一双方向的な解説手法の確立と検証(共著、平成31年3月、札幌市立大学)

〈学会発表〉1.出前授業前後における小学生の意識・認識の変化を測る(単独、平成30年6月、全日本博物館学会第44回大会) / 2.伝えたいことを伝えるために専門家がすること(共同、平成30年11月、日本質的心理学会第15回大会)

〈論文査読・学会抄録査読〉1. Research Bulletin of English Teaching (1件、大学英語教育学会北海道支部)

〈学会役員就任状況〉大学英語教育学会(研究企画委員)

〈学術集会運営〉大学英語教育学会北海道支部研究大会

〈所属学会・研究会〉日本コミュニケーション学会 / International Pragmatics Association / 一般社団法人 大学英語教育学会 / 日本質的心理学会 / 日本語用論学会 / 産業・組織心理学会 / 全日本博物館学会

〈講演会・講習会活動〉株式会社アイティ・コミュニケーションズ 新入職員研修「コミュニケーションとは」(平成30年4月4日、株式会社アイティ・コミュニケーションズ) / 札幌医科大学保健医療学部 保健医療総論における講演「人をつなぐ私たちの営みーコミュニケーションについて考える」(平成30年4月9日、札幌医科大学保健医療学部) / 「ふれあい活動」に関するワークショップ「動物園ふれあい活動の教育的意義について」(平成31年1月28日)

矢部 和夫

〈学会発表〉1.ミズゴケ小丘における水質形成過程のモデル化(共同、平成30年9月、日本湿地学会) / 2.水文環境が泥炭地湿原の栄養塩循環機能に与える影響(共同、平成30年9月、日本湿地学会)



- ＜学会シンポジウム＞1.「湿地学会の10年を振り返り今後の10年を展望する」（共同、平成30年9月、日本湿地学会）
- ＜学会研究発表＞1.創出湿地における16年間の群落変遷の中で起こった12年目からの一時的安定とその原因（単独、平成30年5月、ウエットランドセミナー）／2.幻の石狩湿原を取り戻す（単独、平成30年8月、しめっちカフェ）
- ＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCUジャーナル（1件）
- ＜学会役員就任状況＞日本湿地学会（湿地研究編集委員長）／日本造園学会北海道支部会（運営委員）
- ＜学術集会運営＞ウエットランドセミナー運営幹事
- ＜講演会・講習会活動＞駒里中学校環境学習／宮の森中学校 外来種の話
- ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞専門職員登録（北海道）

若林 尚樹

- ＜学術論文＞1.仕事体験プログラムにおける視覚的対話手法と参加者の主観的評価の分析（共著、平成30年8月、こども環境学研究、40巻、第14号、pp.89—95）
- ＜著書＞1.真意を聞き出すアンケート設計と開発・評価事例（共著、平成30年12月、サイエンス&テクノロジー、ISBN978-4-86428-183-6、pp.261—273）
- ＜調査研究報告書＞1.第1回円山動物園わくわく動物園マップ実施報告（共著、平成30年7月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—16）／2.サマースクール「動物園のお仕事体験」報告と分析（共著、平成30年8月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—15）／3.金沢動物園 わくわく動物園マップ（4回目） ー気持ち温度計の結果分析ー（共著、平成30年10月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—14）／4.ワークショップにおける学びの評価ー金沢動物園 耳みみ、どんな耳? - 動物バイザーを作ろう!（共著、平成30年11月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—15）／5.ホッキョクグマ館主観的印象評価分析報告書（共著、平成30年12月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—8）／6.札幌市円山動物園 この耳,だれの耳? - 動物バイザーを作ろう! - ワorkshopにおける学びの評価 -（共著、平成30年12月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—14）／7.第2回円山動物園わくわく動物園マップ実施報告（共著、平成31年3月、札幌市立大学デザイン学部若林研究室、pp.1—15）
- ＜学会発表＞1.気持ち温度計によるワークショップ参加者の気持ちの変化の比較分析2（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／2.視覚的対話における落書コミュニケーションの活用（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）／3.来園者の主観評定に基づく動物園の評価マップ分析（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会）
- ＜学会研究発表＞1.AIRDO CIマニュアル改訂と就航20周年記念ステッカーの提案（共同、平成30年11月、SCU産学官金研究交流会）／2.観察と工作を組み合わせた教材によるプログラムの評価（共同、平成30年12月、日本動物園水族館教育研究会）／3.来園者の印象評定に基づく動物園での体験分析（共同、平成30年12月、日本動物園水族館教育研究会）
- ＜学会座長就任状況＞第65回春季発表大会口頭発表C4情報デザイン 座長（単独、平成30年6月、日本デザイン学会）
- ＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（代議員）／アジアデジタルアートアンドデザイン学会日本（理事）
- ＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／こども環境学会／芸術科学会
- ＜講演会・講習会活動＞上野動物園サマースクール 動物園のお仕事体験（平成30年7月27日、上野動物園）／金沢動物園 耳みみ、どんな耳? - 動物バイザーを作ろう!（平成30年11月3日、金沢動物園）／札幌市円山動物園 この耳,だれの耳? - 動物バイザーを作ろう!（平成30年11月17日、円山動物園）／「音楽を聴くをデザインする」（旭川工業高等専門学校）（平成31年2月7日、旭川ウェルビーイング・コンソーシアム）
- ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞AIRDOのCIマニュアルの改定（平成29年9月～平成30年6月、株式会社AIRDO CSR企画推進室）／WAONカードデザインコンペ（平成29年9月～平成30年7月、北海道イオン株式会社）／就航20周年記念ステッカーのデザインコンペ「株式会社AIR DO 就航20周年「叶える翼」ステッカー」（平成29年12月～平成30年12月、株式会社AIRDO CSR企画推進室）／No Maps 2018 Conference 札幌の学生VS東京のマーケター ワorkshopに参加（平成30年

10月10日、no maps実行委員会)

柿山 浩一郎

＜調査研究報告書＞1.ZEB/ZEH時代のライフスタイル研究（共同、平成31年2月、札幌市立大学）

＜学会発表＞1.地域創生デザインの為のGPSロガーの試用と動作評価（共同、平成30年6月、日本デザイン学会）／2.地域創生デザインの為のGPSロガーから見えてくる道具のありかた（単独、平成30年7月、電子情報通信学会）

＜学会研究発表＞1.地域のポテンシャルを測定する「カメラ付きGPSロガーを用いた社会実験」（単独、平成30年11月、SCU産学官金研究交流会）

＜学会座長就任状況＞インタフェース C9（単独、平成30年6月、日本デザイン学会 第65回研究発表大会）／テーマセッション-情報デザイン研究部会：「当事者デザイン」 D7（単独、平成30年6月、日本デザイン学会 第65回研究発表大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本感性工学会論文誌（1件、日本感性工学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（理事）／日本デザイン学会（春季研究発表大会概要集編集委員会委員）／日本デザイン学会（研究推進委員会委員）／日本デザイン学会（評議委員）／日本感性工学会（論文編集委員会論文編集委員）

＜学術集会運営＞日本デザイン学会 第65回春季研究発表大会／日本感性工学会 感性フォーラム札幌2019／第22回日本統合医療学会／2018年度 第18回 ロボット・トライアスロン 札幌大会

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本感性工学会／日本教育工学会

椎野 亜紀夫

＜学術論文＞1.まちづくり市民活動団体の役割構造の分析手法開発に向けた基礎研究（共著、平成30年11月、都市計画論文集）

＜学会発表＞1.二世帯調査を通じた自然への意識と自然を対象とした遊びの比較（単独、平成30年10月、日本造園学会北海道支部大会）／2.都市計画学会北海道支部研究発表会（共同、平成30年10月、日本都市計画学会北海道支部）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本造園学会全国大会研究論文集（1件、日本造園学会）／2.食と緑の科学（千葉大学研究紀要）（1件、千葉大学）／3.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）／4.子ども環境学会学会誌（1件、子ども環境学会）

＜学会役員就任状況＞日本造園学会（北海道支部副支部長）

武田 亘明

＜その他の論文＞1.実践的クリエイティブ人材育成における自己能力開発の気づき（単著、平成31年3月、日本教育工学会、JSET19巻、1号、pp.729—736）

＜学会役員就任状況＞日本教育工学協会（理事）／教育とコンピュータ利用研究会（副会長・北海道支部長）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞「平成30年度北海道高等学校産業教育実技講座（商業）「地域課題の解決をテーマにした実践的プロジェクト企画デザイン」（平成30年8月3日、北海道教育庁）／全国中学高校Webコンテスト「第二次審査員」（平成30年12月1日、特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会）

張 浦華

＜作品発表＞1.宝箱（単独、平成30年6月、北海道陶芸会の50周年展 陶・創造者たちー北の大地と共に（芸術の森美術館））陶管（単独、平成30年6月、北海道陶芸会の50周年展 陶・創造者たちー北の大地と共に（芸術の森美術館））／2.彩色大皿（単独、平成30年10月、北海道陶芸会の50周年記念展 陶・創造者たちー北の大地と共に（江別市セラミックアートセンター展））泥彩茶碗（単独、平成30年10月、北海道陶芸会の50周年記念展 陶・創造者たちー北の大地と共に（江別市セラミックアートセンター展））／3.Splash of Light（単独、平成31年2月、アジアネットワークビヨンドデザイン（ANBD）展 スリランカ、公募特別展）

＜受賞等＞1.ANBD展スリランカ特別展 特別賞受賞（平成31年2月）



<学会研究発表>1.高齢者のヘルスケアと食文化の豊かさを実現するための配食サービスの提案（単独、平成30年11月）

<学会役員就任状況>アジアネットワークビヨンドデザイン 日本（特任理事）／北海道陶芸会（北海道陶芸会の50周年記念事業 編集委員）

<専門職者・企業・展覧会等への支援>北海道陶芸会の50周年記念展 図録編集、平成30年4月1日、北海道陶芸会）／「ユニバーサル製品開発」の依頼、平成30年4月6日、旭川ウェルビーイング・コンソーシアム）／ポスター、チラシ、チケットデザインのデザイン、平成30年5月1日、北海道陶芸会）

藤木 淳

<学術論文>1.cellroid-変動と崩壊を繰り返す自律的組織化アルゴリズム（単著、平成30年7月、札幌市立大学、12巻、1号、pp.11—16）／2.みやざきアートセンター開催の個展についての報告-「不思議の体験展 藤木淳 個展」（単著、平成30年7月、札幌市立大学、12巻、1号、pp.17—28）

<作品発表>1.OLE Coodinate System（単独、平成30年4月、三菱みなとみらい技術館企画展「シカクノフシギ展」）マテリアライゼーションシリーズ（単独、平成30年4月、三菱みなとみらい技術館企画展「シカクノフシギ展」）／2.OLE Coodinate System（単独、平成30年4月、諸橋近代美術館企画展「夢幻×無限～エッシャー、ダリ、福田繁雄～」）／3.fairyRose（共同、平成30年5月、ぎふ国際ローズフェスティバル）SoundRose（共同、平成30年5月、ぎふ国際ローズフェスティバル）／4.OLE Coodinate System（単独、平成30年7月、アルスエレクトロニカ イン ザ ナレッジキャピタル「PLAYWARE アルゴリズムでつくる遊び展」）P055E55S10N（単独、平成30年7月、アルスエレクトロニカ イン ザ ナレッジキャピタル「PLAYWARE アルゴリズムでつくる遊び展」）／5.体内認知空間拡張装置（共同、平成30年9月、Matching HUB Sapporo 2018）／6.体内認知空間拡張装置（共同、平成30年9月、ビジネスEXPO）／7.etheroid（共同、平成31年1月、Ars Electronica Festival 2018）／8.Sense of non-presence（共同、平成31年1月、札幌市青少年科学館）／9.非現実的な実写映像生成のための方法論（共同、平成31年1月、「コンピュテショナル・アート特論」授業成果発表展）

<受賞等>1.芸術工学会奨励賞（平成31年3月、芸術工学会）

<学会発表>1.ADADA Japan 2018（共同、平成30年9月、ADADA Japan 2018）

<学会シンポジウム>1.スーパー錯視ブラザーズ：錯視図形によりプレイヤーの注意力を揺さぶるアクションゲーム（平成31年3月、インタラクシオン2019）／2.コトバーテル：日本語の曖昧さに着目した推理カードゲーム”（平成31年3月、インタラクシオン2019）

<講演会・講習会活動>第24回学生CGコンテスト 部門別トークイベント（アート部門）／アルスエレクトロニカトークセッション「PLAYWARE」／展示レクチャー「アルスエレクトロニカ イン ザ ナレッジキャピタル「PLAYWARE アルゴリズムでつくる遊び展」」

<専門職者・企業・展覧会等への支援>学生CGコンテストにおける審査（CG-ARTS）

松井 美穂

<著書>1.『ノンフィクションの英米文学』（共著、平成30年11月、金星堂、pp.305—321）

<書評>1.『フォークナー文学の水脈』（平成31年3月、北海道アメリカ文学、35号、pp.109—114）

<学会役員就任状況>日本アメリカ文学会（編集委員）／日本アメリカ文学会北海道支部（幹事）

<所属学会・研究会>日本英文学会／日本アメリカ文学会／日本カナダ文学会／アメリカ学会／日本ウィリアム・フォークナー協会／Faulkner Society／Carson McCullers Society

丸山 洋平

<調査研究報告書>1.高浜町の人口動態分析と将来人口推計（平成30年度報告書）（単著、平成31年3月、高浜町役場）／2.神奈川県2018年度人口問題等調査研究報告書（共著、平成31年3月、神奈川県庁）／3.さっぽろ健康スポーツ財団×札幌市立大学、『自主事業（教室）マーケティング 広報の現状把握、課題の解決方法の検討』（共著、平成31年3月、さっぽろ健康スポーツ財団、pp.39—44）／4.「よりよいホットライン」平成29年度報告書（共著、平成31年3月、社会的包摂サポートセンター、pp.221—233）

<辞書・辞典>1.人口学辞典（平成30年11月、丸善出版）

<学会発表>1.不詳が少ない住宅所有関係データの精度に関する考察（単独、平成30年6月、日本人口



学会第70回大会) / 2.人口移動の影響を考慮した親子同居の実質的地域差 (単独、平成30年9月、日本地理学会2018年度秋季学術大会) / 3.人口移動の影響を考慮した人口再生産指標の提案 (単独、平成30年11月、2018年人文地理学会大会) / 4.移動経験と生きづらさの関係に関する試験的分析～よりそいホットラインの継続支援相談者を対象として～ (単独、平成30年12月、2018年度第1回日本人口学会東日本地域部会)

＜学会座長就任状況＞日本人口学会第70回大会「自由論題C-2 東京の人口」 (単独、平成30年6月、日本人口学会) / 2018年度第1回日本人口学会東日本地域部会の前半 (単独、平成30年12月、日本人口学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌市立大学研究論文集 SCU Journal of Design & Nursing 2019 (1件)

＜学会役員就任状況＞人口学研究会 (総務)

＜所属学会・研究会＞日本人口学会 / 日本家族社会学会 / 人文地理学会 / 日本地理学会 / 日本都市計画学会 / 北海道社会学会 / 人口学研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞人口移動研究プロジェクトの外部委員 (平成30年4月～平成31年3月、国立社会保障・人口問題研究所) / 将来人口推計に関する研究アドバイザー (平成30年4月～平成31年3月、新宿区新宿自治創造研究所) / 平成30年度神奈川県人口推計・分析共同研究会への参加 (平成30年4月～平成31年3月、神奈川県) / 「高浜町の人口動態分析と将来人口推計」プロジェクトへの参加 (平成30年4月～平成31年3月、福井県立大学) / 「北海道東北地方の曹洞宗寺院の将来像」プロジェクトで講演「日本の家族変動とその背後にある家族変動と人口分布変動」 (平成30年9月28日、東北福祉大学仏教文化研究所) / 平成30年度神奈川県地域人口研究会で講演「神奈川県の家族類型別の将来世帯推計の方法と市町村への適用」 (平成30年12月21日、神奈川県)

三谷 篤史

＜学術論文＞1. Development of a novel telecare system, integrated with plantar pressure measurement system (共著、ELSEVIER、12巻、pp.98—105) / 2. 口腔ケアシミュレータモデルの開発に現場が期待することの分析 (共著、平成30年6月、日本口腔ケア学会雑誌、13巻、1号、pp.43—47)

＜学会発表＞1. 現場が口腔ケアシミュレータモデルの開発に期待すること (共同、平成30年4月、第15回日本口腔ケア学会総会・学術大会) / 2. 道具の観点で見た歯科衛生士による専門的な口腔介護 (共同、平成30年4月、第15回日本口腔ケア学会総会・学術大会) / 3. 呼吸によって動作する人形を制作するワークショップの実施と評価～制作者の呼吸を検出するモジュールの開発とワークショップを通じた検証 (共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会) / 4. 継続的インタラクションを目的とした要介護高齢者のアート制作と心理評価 (共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会) / 5. 車椅子のクッションと肘掛の汚染度調査 (共同、平成30年6月、日本老年看護学会第23回学術集会) / 6. Identification of Contact Property between Soft-hard Materials (共同、平成30年11月、GTSD2018)

＜学会座長就任状況＞温泉療法最前線 (共同、平成30年10月、日本統合医療学会) / BS03-Automotive and Mechanical Engineering (共同、平成30年11月、GTSD2018)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. Proceedings of ROBIO2018 (8件、IEEE ROBIO 2018) / 2. Sensors (1件、MDPI) / 3. International Journal of Automation Technology (1件、Fuji Press) / 4. Sensors (1件、MDPI)

＜学会役員就任状況＞精密工学会北海道支部 (商議員) / 日本機械学会 (ロボティクス・メカトロニクス部門第2地区技術委員会委員) / 日本トライボロジー学会 (北海道トライボロジー研究会主査) / 精密工学会 (広報・情報専門部会)

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会 / 2018年度精密工学会秋季大会学術講演会

＜所属学会・研究会＞日本機械学会 / 日本デザイン学会 / 計測自動制御学会 / 米国電子電気学会 (IEEE) / 日本ロボット学会 / 日本感性工学会 / 精密工学会 / 北海道トライボロジー研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞サッポロ・ロボットコーナーへのロボット展示 (通年、札幌市青少年科学館) / フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッションの展示「ユニバーサルデザインセミナー」 (平成30年4月21日、北のユニバーサルデザイン協議会) / 「道内高専・大学・公設



試 研究成果展示」ブースにおいて、フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッション、および口腔ケアシミュレータの展示（平成30年9月5日～7日、精密工学会）／フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッションの展示「国際福祉機器展2018」（平成30年10月10日～12日、フィールドクラブ、一般財団法人 保健福祉広報協会）／全国高等専門学校ロボットコンテスト2018北海道地区大会審判(主審)「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2018北海道地区大会」（平成30年10月28日、旭川高専、全国高等専門学校連合会、NHK、NHKエンタープライズ、後援、内閣府、文部科学省、日本機械学会、日本ロボット学会、電気学会）／産学官金研究交流会における講演（タイトル：おいしい食事・健康な体をもたらす良い姿勢を保つために—防水性・防汚性コーティングを活用した車椅子用クッションCOTEMALIの開発—）およびポスター・クッション展示（平成30年11月28日、札幌市立大学）／学生がデザインしたゆらぎ照明を用いたランプシェードの展示「ビジネスEXPO」（平成30年11月8日～9日、清水勸業株式会社、北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会）／第4回摂食嚥下カフェにて専門職従事者へ研究紹介タイトル：「ちょっと楽しい研究から何が見えるか？」（平成31年1月12日、ナーシングホーム気の里）／学生がデザインしたゆらぎ照明を用いたランプシェードの展示「第87回東京インターナショナル・ギフト・ショー春」（平成31年2月12日～15日、清水勸業株式会社、㈱ビジネスガイド社 インターナショナル・ギフト・ショー事務局）

森 朋子

＜著書＞1. 東京大学本郷キャンパス:140年の歴史をたどる（共著、平成30年6月、東京大学出版会、978-4130013505、pp.30—37、pp.42—45、pp.64—65、pp.88—89、pp.100—101、pp.108—119、pp.122—123、pp.126—127、pp.179—190）
 ＜学会発表＞1. コカナにおける伝統的建造物の復興の実態（被災後2年半）（共同、平成30年9月、日本建築学会大会（東北））／2. カトマンズ盆地のネワール集落における伝統的町並みの残存状況（共同、平成30年9月、日本建築学会大会（東北））／3. カトマンズ盆地のネワール集落における集落空間の特徴分析（共同、平成30年9月、日本建築学会大会（東北））／4. National Identity Report on the Cultural Landscapes in Japan（単独、平成31年2月、アジア文化的景観連合）
 ＜論文査読・学会抄録査読＞1. Proceedings of the 18th International Planning History Society Conference, vol 18, no.1 Yokohama, Japan（2件、国際都市計画史学会）
 ＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本都市計画学会／アジア文化的景観連合／日本イコモス国内委員会（バッファゾーン小委員会幹事）
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ヘリテージ・インパクト・アセスメント研修の企画および運営支援（平成31年3月11日・1日、ユネスコ・カトマンズ事務所）／ネパール・カトマンズ盆地における市長・行政担当者向け会議での講演「歴史的集落保全に関する第2回市長会議」（平成31年3月12日・1日、東京文化財研究所、ネパール・ラリトプル市）／ネパールにおける無形文化遺産の現状と課題に関する国際研究会でのコメンテーター（平成30年12月10日・1日、東京文化財研究所（神戸芸術工科大学より派遣依頼））

山田 信博

＜学術論文＞1. 夏季における中学生の想像温度と熱環境適応プロセスの関係（共著、平成31年2月、日本建築学会環境系論文集、756号、pp.171—178）
 ＜調査研究報告書＞1. 地域課題に対応した公営住宅の活用（日本建築学会大会、建築社会システム部門パネルディスカッション論文集）（単著、平成30年9月、日本建築学会、pp.29—32）
 ＜学会発表＞1. 高経年団地における居住者の実態把握 公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究 その1（共同、日本建築学会）／2. 高経年団地における居住者の地域活動への参加特性 公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究 その2（共同、日本建築学会）／3. 中学生の想像温度と熱環境適応プロセスの関係に関する考察（共同、日本建築学会）
 ＜学会シンポジウム＞1. 地域課題に対応した公営住宅の活用（単独、平成30年9月、日本建築学会）
 ＜論文査読・学会抄録査読＞1. 都市学研究（3件、北海道都市地域学会）／2. SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）
 ＜学会役員就任状況＞北海道都市地域学会（理事）
 ＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本居住福祉学会／北海道都市地域学会



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞真駒内のまちづくりに関する事例を札幌市、UR都市再生機構と協議している（毎月1度、真駒内まちづくり協議会）／京都市向島ニュータウンの再生活動を行う団体へ専門知識に関する講義（向島ビジョン推進会議 暮らし安心WG）

山田 良

＜学術論文＞1.北海道の景観が引き出す環境芸術（共著、平成30年5月、環境芸術学会）／2.地域資源に気付きを与える環境芸術（共著、平成30年5月、環境芸術学会）／3.北海道におけるガーデンショー出展作品の空間特性に関する研究（共著、平成30年5月、環境芸術学会）

＜作品発表＞1.風の家／滝川（平成30年5月）／2.風の家／岩見沢（平成30年6月）／3.Italo Calvino / Invisible ities（平成30年7月）／4.紅桜アートアニュアル2018（平成30年8月）／5.風の家／千歳

＜学会発表＞1.風景に気付きを与える環境芸術（平成30年10月、環境芸術学会大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.環境芸術20（2件、環境芸術学会）

＜学会役員就任状況＞環境芸術学会（支部長）／日本建築学会（設計競技審査委員長）／日本建築学会（建築作品発表会委員）

石田 勝也

＜作品発表＞1.環境氷柱光壁（共同、平成31年2月、垂氷まつり）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞アイヌ語ラジオ講座検討委員としてアイヌ語講座の新メディア活用方法の検討（平成31年2月1日、(公財)アイヌ民族文化財団）

大島 卓

＜調査研究報告書＞1.北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究（平成31年2月、札幌市立大学）

＜その他の論文＞1.明治期以降に開設され、現存する牧場の歴史的・産業遺産的価値について（単著、平成30年8月、独立行政法人農畜産業振興機構346号、pp.2—6）／2.明治期以降に開設され、現存する牧場の歴史的展開について（単著、平成30年8月、株式会社酪農乳業速報夏季特集号、pp.20—26）

＜学会役員就任状況＞日本造園学会北海道支部（運営委員）

＜学術集会運営＞日本造園学会北海道支部大会

大淵 一博

＜調査研究報告書＞1.助産師教育における客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた教育プログラムの開発・実践（共著、平成31年2月、札幌市立大学助産学研究科）

＜学会発表＞1.高齢者施設入居者の口腔環境と心臓血管リスク因子低下のための基礎的調査～口腔内アセスメントガイドを使用して～（共同、平成30年6月、第54回日本循環器病予防学会学術集会）／2.口腔粘膜ケア実施の有無によるOAGスコアとの関連に関するpilot study（共同、平成30年7月、第59回日本歯科医療管理学会学術大会）／3.介護福祉施設入居者の口腔の状態と機能及び口腔管理の実態～日本版 OAG を使用して～（共同、平成30年10月、第77回日本公衆衛生学会）／4.特別養護老人ホーム入居者の口腔の状態と機能及び口腔管理の実態～Oral Assessment Guide を使用して～（共同、平成30年10月、第70回北海道公衆衛生学会）

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会北海道支部（幹事：庶務担当）

＜学術集会運営＞感性フォーラム札幌2019／日本感性工学会北海道支部 学生発表会／芸術工学会 2019年度 秋期大会

＜所属学会・研究会＞電子情報通信学会／日本教育工学会／日本感性工学会／日本医療情報学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞システム開発協力（通年、札幌の美しい景観を考える会）／ソフトウェア利用に関する個別指導等・Webサイトデザイン制作協力（随時、札幌イメージコーディネート研究会）／イベント企画・運営・デザイン制作協力（平成30年5月～平成31年3月、北海道グレートサンタラン実行委員会）／Webページデザイン制作協力（平成30年8月～10月、札幌塗装工業協同組合）／Webサイトデザイン制作協力（平成30年10月～12月、特殊衣料）／札幌市長グリーティングカードデザイン審査会（平成30年10月18日、札幌市国際部）／パッケージデザイン制作協力（平成31年3月、社会福祉法人白老宏友会 多機能型事業所ポプリ）

片山 めぐみ

＜学術論文＞1. Case study of Ten-million House in Musashino City in Japan (共著、平成30年7月、international association people-environment studies、iaps25巻、pp.25—30) / 2. コミュニティ・レストランにおけるソーシャル・キャピタルの醸成:一寿都町「風のごはんや」の設置企画と評価 (単著、平成31年1月、デザイン学研究、65巻、3号、pp.31—36)

＜調査研究報告書＞1. パネルディスカッション シニア層が活躍する地域づくり:市町村職員研修会 シニア層の社会参加と地域づくり施策 (共著、平成30年5月、北海道市町村振興協会26巻、pp.55—57)

＜学会発表＞1. まちなか集客施設「SuBACo」改装ワークショップを通じた住民参加の手法 砂川市地域おこし協力隊によるまちづくり (共同、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究報告集)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本建築学会計画系論文集 (1件、一般社団法人 日本建築学会) / 2. デザイン学研究 (1件、日本デザイン学会)

＜学会役員就任状況＞日本建築学会北海道支部 (都市計画専門委会) / 人工知能学会 (仕掛学研究会運営委員会)

＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部研究会 / JSAI2019 (人工知能学会2019年度大会)

＜講演会・講習会活動＞子どもの居場所と地域の関わり (平成30年9月30日、石狩市) / 『ゆるワク! 地域生活のススメ』 (平成30年10月20日、浦河町、北海道) / 『ゆるワク! 地域生活のススメ』 (平成31年2月16日、小樽市、北海道)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞講義「コミュニティレストランの運営」 (平成30年9月3日、壮瞥町商工会) / 「皿鉢料理を囲みながら自分たちの生きがいの場づくり」 (平成31年3月2日、壮瞥町商工会)

金 秀敬

＜学術論文＞1. Designing User Experiences Focused on Multimodal Perception (単著、平成30年6月、Linköping Electronic Conference Proceedings、2018巻、146号、pp.454—463) / 2. 食と色彩の関係に着目したミントカラーの魅力に関する研究 (共著、平成31年2月、日本感性工学会) / 3. 「まちなかの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動—「まちなかの健康公園室」継続利用による効果検証— (共著、平成31年3月、SCU Journal of Design & Nursing、13巻、1号、pp.3—15) / 4. Rethinking Design-Doing Focused on Design-Learning (共著、平成31年3月、Design Principles & Practices)

＜著書＞1. Enhancing User Experience with Embodied Cognition (単著、平成31年3月、Springer Nature Switzerland AC、978-3-030-02052-1、pp.123—129)

＜調査研究報告書＞1. 「拡張キャンパス型地域連携」による過疎市町村の自律的創生デザイン研究 H29年度科学研究実績報告書 (H31.5) (共著、平成31年3月、(財)日本学術振興会) / 2. 「情報干渉」に着目した、複数知覚情報の検証と応用方法に関する研究 (単著、平成31年3月、公立大学法人札幌市立大学)

＜学会発表＞1. 「まちなかの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証～健康関連QOLの視点から～ (共同、平成30年12月、日本看護科学学会) / 2. COC事業「まちなかの健康応援室」利用者がとらえる継続利用の有用性 (共同、平成30年12月、日本看護科学学会)

＜学会座長就任状況＞Human-System and Interface Design I (平成30年10月、IHSED)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. International Journal of Affective Engineering (3件、日本感性工学会) / 2. SCU Journal of Design & Nursing (1件、公立大学法人札幌私立大学)

＜学会役員就任状況＞Design Society (委員) / Design Principles & Practices (委員) / 日本感性工学会 (感性工学会北海道支部運営委員) / 日本感性工学会 (委員) / 日本デザイン学会 (委員)

＜学術集会運営＞感性工学会北海道支部 (感性フォーラム札幌2018) / 感性工学会北海道支部 (感性フォーラム札幌2019) / IHSED2018 / 感性工学会北海道支部 (感性フォーラム札幌2020) / 学生会 第6回研究発表会 / 学生会 第7回研究発表会

小宮 加容子

＜作品発表＞1. ユニバーサル製品の提案 (共同、平成30年4月、北のユニバーサルデザイン協議会ユニバーサルデザインセミナー) / 2. ユニバーサル製品の提案 (共同、平成30年11月、ビジネスEXPO)



＜学会発表＞1.探究心を成長させる遊び「わくわくひろがる星の子たんけんたい」の活動報告（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回研究発表会）／2.ユニバーサルな参加・蓄積型の遊び「テーブルであそぼ」の提案とその活動報告（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回研究発表会）／3.論理的思考を促す遊び「想像しよう！生き物たちのすみか」の活動報告（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回研究発表会）／4.複数の感覚と体の動きをつなげる遊び「オトノイエ」の活動報告（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回研究発表会）／5.地域創生に向けたユニバーサル製品（プロトタイプ）の提案（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回研究発表会）

＜学会研究発表＞1.地域創生に向けたユニバーサル製品（プロトタイプ）の提案（共同、平成30年11月、SCU産学官金研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本デザイン学会第65回研究発表会梗概集（71件、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（春季研究発表大会概要集編集委員会）

＜所属学会・研究会＞ヒューマンインタフェース学会／日本科学看護学会／日本リハビリテーション工学協会／日本機械学会／日本福祉のまちづくり学会／日本デザイン学会

＜講演会・講習会活動＞シェアキッズワークショップ2018「北海道ってどんな色？君だけのうちわづくり」（平成30年8月5日、㈱クレオテック）

須之内 元洋

＜実務関係書＞1.「どうしよう」からはじめるアーカイブ 作品を記録し、伝える方法（共著、平成31年3月、みずのき美術館+鞆の津ミュージアム+はじまりの美術館）

＜書評＞1.企業の遺伝子 第3号（平成30年6月、クオン㈱）

＜作品発表＞1.「アートと障害のアーカイブ・京都」デジタルアーカイブ（共同、平成30年9月、平成30年度 共生の芸術祭「アートと障害のアーカイブ・京都」）

＜学会発表＞1.長期的なデジタル文化資源運用のためのシステムマイグレーションフローチャートの構築に向けて：森正洋デザインアーカイブを例として（単独、平成31年3月、デジタルアーカイブ学会第3回研究大会）

＜所属学会・研究会＞ACM／デジタルアーカイブ学会／芸術科学会／情報処理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイヴ企画・構築支援（みずのき美術館）／福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイヴ企画・構築支援（鞆の津ミュージアム）／福祉支援施設入居者の表現に関するデジタルアーカイヴ企画・構築支援（はじまりの美術館）／陶磁器デザイナー森正洋氏のデジタルアーカイヴ構築アドバイス・支援（合同会社森正洋デザイン研究所）／アール・ブリュットアーカイブの運用・構築、展覧会「共生の芸術祭」サポート（京都府）／SIAF LABの運営支援（札幌国際芸術祭実行委員会）／アール・ブリュットアーカイブに関するフォーラムの運営・モデレーターなど（日本財団）／天神山アートスタジオのウェブ広報支援（さっぽろ天神山アートスタジオ）／ラジオ番組の選曲企画・選評（㈱QON）／文化庁人材育成プログラム 講師 続けるための記録について AIR勉強会001（AISプランニング）

福田 大年

＜調査研究報告書＞1.新ゾウ舎およびホッキョクグマ館の各展示技術の効果に関する研究（平成31年3月、札幌市立大学）

＜作品発表＞1. Tap Behavior—スクリーンを越えた体験のデザイナー（共同、平成30年8月、イノベーション・ジャパン2018～大学見本市&ビジネスマッチング～）／2. デジタル絵本をつくろう！iPadで体験型ワークショップ（共同、平成30年10月、ジュニア・プログラミング・ワールド2018 with TEPIA）／3. Tap Behavior（共同、平成31年2月、Tap Behaviorでスクリーンを飛び出した体験をつくろう！）

＜学会発表＞1.参加型デザインワークショップでのフラットな関係構築にデザイン系学生が果たす役割（共同、平成30年7月、日本デザイン学会研究発表大会概要集）／2.参加型デザインワークショップがデザイン系学生にもたらす効果の考察（共同、平成30年12月、共創学会第2回年次大会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会 第1支部会（平成30・31年度 幹事）／日本デザイン学会（平成30・31年度 評議員）



＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／ヒューマンインタフェース学会／共創学会／日本福祉のまちづくり学会／情報文化学会

＜講演会・講習会活動＞バイオミメティクス市民セミナー(第80回)北海道とバイオミメティクスを考える その4「デザインとバイオミメティクス」(平成30年8月4日、北海道大学総合博物館)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ライフスタイル事業創出プロジェクトにおけるリサーチおよびサービスプロトタイピングの協力(平成30年6月～平成30年12月28日、ライオン株式会社、株式会社アイ・エム・ジェイ)／厚真町企画デザインセミナー(平成30年6月7日～8月25日、厚真町)／保健だよりで情報をうまく伝えるコツ「学校保健」研修講座(平成30年8月28日、後志教育研修センター)／厚真町復興PR事業(平成30年9月27日～平成31年3月31日、厚真町)／自主事業マーケティングの支援・助言(平成30年12月～平成31年3月31日、(財)さっぽろ健康スポーツ財団)／イラストデザインの制作(平成30年12月～平成31年3月31日、(財)さっぽろ健康スポーツ財団)／ジバとデザイン～パッケージやチラシだけじゃない?! 地場産業の価値を高めるデザインとの付き合い方「食品企業向けパッケージデザインセミナー」(平成31年2月5日、旭川食品産業支援センター)／「対話するスケッチ」でアイデアを出してみよう!!「クルクルスケッチ」によるアイデア生成プロセスを体験する「OthloEvent(学生限定)UXデザイン講座」(平成31年2月16日、Othlotech、(株)アクアリング)／教材掲載用の問題作成、吟味および監修や教材に関わる資料へのアドバイザー「P検リニューアル」(平成31年3月8月～、(株)ベネッセコーポレーション)／オーラルケア啓発学習プログラムの開発・効果検証・評価の協力(平成31年3月11日～令和2年3月31日、(財)ライオン歯科衛生研究所)

松永 康佑

＜著書＞1.ProcessingによるCGとメディアアート(共著、平成30年12月、講談社、4065129745、pp.202—244)

＜作品発表＞1.Platomino(単独、平成31年2月、アジアデジタルアート大賞展FUKUOKA)

＜受賞等＞1.優秀賞(エンターテインメント(産業応用)部門)(平成31年2月、2019アジアデジタルアート大賞展実行委員会)

＜学会発表＞1.Sense of non-presence(共同、平成30年9月、ADADA学会)／2.正二十面体を用いた色合わせ立体パズルゲーム「Platomino」(共同、平成31年3月、インタラクシオン2019)／3.足裏への音圧刺激による雪上歩行感の表現 さっぽろ雪まつりアーカイブ(共同、平成31年3月、インタラクシオン2019)

＜学会座長就任状況＞情報デザイン(単独、平成30年9月、ADADA学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.ADADA International Journal(8件、ADADA学会)

＜学会役員就任状況＞ADADA学会(理事)

＜学術集会運営＞ADADA Japan 2018

＜所属学会・研究会＞ADADA学会(アジアデジタルアートアンドデザイン学会)／日本図学会／日本デザイン学会／ACM SIGGRAPH

金子 晋也

＜学術論文＞1.FRAMING SYSTEMS AND TERMINOLOGY OF THE ROOF STRUCTURE IN JAPANESE AND BRITISH VERNACULAR HOUSES(共著、平成30年10月、日本建築学会計画系論文集、752巻、pp.1919—1928)／2.1980年代以降の昆布漁の変遷からみた番屋の変容—北海道目梨郡羅臼町カモイウンベ地区の調査(共著、平成31年3月、生活学論叢、34号、pp.31—40)

＜調査研究報告書＞1.札幌市立大学芸術の森キャンパスの地域特性からみたキャンパス整備計画と教育プログラムの開発に関する研究(共著、平成31年3月、札幌市立大学)

＜学会発表＞1.明治期から昭和初期における木造の武道場の空間構成(共同、平成30年7月、日本建築学会)／2.英米の二階建て伝統的木造住宅における部材用語の比較 日本と欧米諸国における木造建築構法の変遷過程に関する比較研究 その5(共同、日本建築学会)／3.北海道と米国におけるギャンブレル屋根畜舎の木造建築構法 日本と欧米諸国における木造建築構法の変遷過程に関する比較研究 その6(共同、日本建築学会)／4.函館市西部地区における住宅建築の活用実態に関する調査(単独、芸術工学会)／5.羅臼町カモイウンベ地区における漁業小屋の生活空間(共同、日本生活学会)

＜学会研究発表＞1.寒冷地の住宅建築の活用実態と変容過程に関する研究(平成30年8月、札幌市立大



学内研究交流会)

- <学会役員就任状況> 日本建築学会 (計画委員会) / 日本建築学会北海道支部 (歴史・意匠委員会)
- <学術集会運営> 日本建築学会木造建築構法小委員会研究会 / 2019芸術工学会秋季大会の誘致・企画 / 日本建築学会北海道支部の企画 / 日本建築学会建築計画ワーキング比較木造建築研究会
- <所属学会・研究会> 日本建築学会 / 芸術工学会 / 日本生活学会 / 在宅ケア学会 / NPO木の建築フォーラム
- <専門職者・企業・展覧会等への支援> 修士研究に関する専門知識の提供、建築調査指導、論文アドバイス (通年、札幌市立大学デザイン研究科) / 2018年度卒業設計優秀作品賞 (平成31年2月～3月、日本建築学会北海道支部) / ミーティングの運営、企画のアドバイスなど (平成30年7月11日、10月3日、12月5日、くらしラボまこまない) / ストリートファニチャー設置に関するデザイン監修 (平成30年9月、札幌市土木課) / 2019芸術工学会秋季大会ポスター学内コンペ (平成31年2月28日) / 旧増毛小学校体育館の建築調査 (平成30年8月31日、増毛町教育委員会) / 研修会 (平成30年9月14日、中小企業家同友会札幌支部) / はまます郷土資料館 (旧白鳥家番屋) の建築調査 (平成30年9月15日、石狩市教育委員会) / 和歌山武徳殿の建築調査 (平成30年9月18日、和歌山市教育委員会) / 研究協力、北海道におけるアイヌ文化に関する専門知識の提供 (平成30年10月5日、武庫川女子大学住環境・地域デザイン研究室) / 旧木村家番屋の建築調査 (平成30年10月21日、ごきびる番屋サポートの会) / 芸術工学奨励賞 (平成30年10月27日、芸術工学会) / 第25回大会卒業作品展2018 (平成30年11月14日・5日間、日本インテリア学会) / 修士研究に関する専門知識の提供 (平成30年11月28日、北海道大学工学研究院 建築都市空間デザイン部門 空間計画分野)

田島 悠史

- <学術論文> 1. 「ワークショップからコンサルティングへ～人口減少社会における少人数創作ワークショップの提案～」 (単著、平成31年3月、宝塚大学)
- <実践報告書> 1. トリックアートde賑わい創出事業 2018年度 事業成果報告書 (平成31年3月、伊藤商工会議所)
- <作品発表> 1. (木津川アート2018、平成30年9月)
- <学会発表> 1. ワorkshopからコンサルティングへ～人口減少社会における新しいワークショップの提案 (単独、平成30年7月、日本美術教育学会第67回三重大会) / 2. クリエイターによる地域デザイン手法の提案～東京都新宿区の事例を通して～ (単独、平成30年9月、地域デザイン学会2018年度第7回全国大会) / 3. 静岡県伊東市における、サイトスペシフィックなトリックアート事業のプロデュース (単独、平成30年9月、環境芸術学会第19回大会) / 4. アートプロジェクトとアウトカム部会2018年度報告 (共同、平成30年9月、環境芸術学会第19回大会)
- <論文査読・学会抄録査読> 1. 芸術科学会論文誌 (NICOGRAPH2018) (1件) / 2. 環境芸術学会誌 (1件)
- <専門職者・企業・展覧会等への支援> アドバイザーとして運営全体にアドバイスを実施 (調査研究を兼ねる) (みなとメディアミュージアム) / 専務理事として運営全体に関与 (調査研究を兼ねる) ((社)新宿メディア芸術地域活性化推進協会)

矢久保 空遥

- <学会発表> 1. エゴグラムにみるアートプロジェクト型ワークショップの効果 (共同、平成30年6月、日本デザイン学会) / 2. 拡張キャンパス型地域創生デザインの試行「ツーリズム」 (共同、平成30年6月、日本デザイン学会) / 3. 地域創生デザインの為のGPSロガーの試用と動作評価 (共同、平成30年6月、日本デザイン学会) / 4. 訪問看護で注射器等を安全に廃棄できる携帯用医療廃棄物容器の開発 (共同、平成30年10月、日本デザイン学会)
- <学会研究発表> 1. おじさんハンコつくりました-ゴムを素材とする北海道土産の開発- (平成30年11月、札幌市立大学産学官金研究交流会)
- <学会座長就任状況> 日本デザイン学会第65回大会 (日本デザイン学会)
- <学術集会運営> 日本感性工学会 感性フォーラム
- <所属学会・研究会> 日本デザイン学会 / 日本音響学会 / 日本感性工学会 / 日本サウンドスケープ協会
- <講演会・講習会活動> 帯広緑陽高校での出前授業 (平成30年7月19日) / 共同求人委員会懇談会「札

幌市立大学でのインターンシップ実践報告・現状と課題,展望 -」 (平成30年11月26日)

<専門職者・企業・展覧会等への支援>ものづくりテクノフェアへの出展「おじさんハンコつくりました」 (平成30年7月26日) / ビジネスEXPOへの出展

看護学部**樋之津 淳子**

＜その他の論文＞1.病院で行われている注射準備時の針交換の現状と課題（共著、平成30年4月、日本看護技術学会誌17巻、1号、pp.18—25）／2.看護師と看護学生の手の使い方の違い—体位変換技術における手指・手掌の接触部位にかかる力に焦点を当てて—（共著、平成30年9月、日本看護研究学会誌41巻、4号、pp.783—794）

＜特許・意匠登録＞1.人体移動用の補助具（平成31年2月）

＜学会発表＞1.客観的臨床能力試験（OSCE）の導入と実際（単独、平成30年6月、第57回日本生体医工学会大会）／2.大学と病院をつなぐ遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果と課題 第3報—教育担当者への研修2か月後インタビューから—（共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会学術集会）／3.看護基礎教育の講義・演習に研修として参加した中堅看護師の学習効果と課題（共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会学術集会）／4.大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修の効果と課題 第2報—受講者の研修2か月後グループインタビューから—（共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会学術集会）／5.大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修 第1報—レディネス把握にむけた事前調査—（共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会学術集会）／6.看護コンソーシアム構築に向けて方策を探る—大学と医療施設のつながりによる継続教育支援への新たなモデル展開—（共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会学術集会）／7.大学と地方の病院をスカイプによる遠隔授業で繋いだ中堅看護師研修の実践報告（共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会）／8.学生が看護師とともに学んだ授業の意味—看護倫理学の授業を遠隔地とつないだ教育実践から—（共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会）

＜学会座長就任状況＞第4会場 第14群 看護教育（継続教育）（平成30年8月、日本看護研究学会第44回学術集会）／末梢静脈カテーテル留置の看護技術（平成30年10月、第6回看護理工学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護技術学会誌（1件、日本看護技術学会）／2.第38回日本看護科学学会学術集会講演集（5件、日本看護科学学会）／3.看護人間工学研究誌（1件、日本人間工学会看護人間工学部会）／4.日本看護科学学会誌（1件、日本看護科学学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護研究学会（一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会会長）／看護理工学会（評議員・監事）／日本看護技術学会（評議員）／日本看護研究学会（評議員）／日本人間工学会看護人間工学部会（総務）／日本看護科学学会（社員（代議員））

＜学術集会運営＞日本看護研究学会第46回学術集会企画委員

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本人間工学会／日本人間工学会看護人間工学部会／看護理工学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究会の運営委員、意見交換（北のケア環境研究会）

松浦 和代

＜調査研究報告書＞1.医療・福祉施設木材利用促進検討委員会およびWG成果報告書（共著、平成31年3月、(社)木を活かす建築推進協議会）

＜受賞等＞1.NICUにおける入院児の父親の親性に対するエキスパート看護師のアセスメントの視点と看護 学術優秀賞（平成30年11月、日本新生児看護学会）

＜学会発表＞1.モンゴル国におけるDDH予防研修会参加者の満足度評価（共同、平成30年8月、日本小児看護学会）

＜学会座長就任状況＞在宅呼吸ケアと医療的ケア児の呼吸管理上の問題点・地域連携の現状平成30年9月、日本小児呼吸器学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本小児呼吸器学会第51回日本小児呼吸器学会抄録集（5件、日本小児呼吸器学会）／2.日本小児看護学会第28回学術集会講演集（5件、日本小児看護学会）／3.日本看護科学学会第38回学術集会講演集（4件、日本看護科学学会）／4.日本小児看護学会誌（1件、日本小児看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本小児看護学会（社員（評議員））／日本看護科学学会（代議員）／全国病弱研究会（北海道地区世話人）／北海道学校保健学会（理事）／北海道成育看護研究会（理事長）／北海道小児保健研究会（評議員）



<学術集会運営>日本小児看護学会第29回学術集会／北海道成育看護研究会／北海道学校保健学会
 <所属学会・研究会>日本小児看護学会／日本小児保健学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／
 日本学校保健学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本母性衛生学会／日本新生児看護学会
 <講演会・講習会活動>小児看護OSCE研修会（平成30年11月17日、札幌市立大学看護学部小児看護
 学領域）
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>実地指導者研修「新人看護職員の学習支援」（平成30年6月12
 日・14日、札幌医科大学附属病院）

川村 三希子

<調査研究報告書>1.専門的緩和ケア看護師教育プログラム受講後の臨床実践における変化 自己評価
 と他者評価（共著、平成30年9月、木村看護教育振興財団看護研究集録、25号、pp.1—22）
 <その他の論文>1.「すべてが抜けて体がなくなってしまう」という不安と孤独のなか、亡くなった思
 春期男児に必要なこと（共著、平成30年6月、死の臨床、41巻、1号、pp.150—151）
 <実務関係書>1.ELNEC-Jコアカリキュラム改訂（平成30年4月、日本緩和医療学会）／2.専門的緩和
 ケア教育プログラム（SPACE-N）改訂（平成30年4月、日本ホスピス緩和ケア協会）
 <学会発表>1.専門的緩和ケア看護師教育プログラムの有効性の検証 臨床実践における自己評価と他
 者評価（共同、平成30年6月、日本緩和医療学会）／2.在宅療養中の高齢がん患者のがん疼痛の体験と
 方略（共同、平成31年2月、がん看護学会）／3.抗がん治療中止を告げられた進行・再発がん患者に対
 する意思決定支援の実態と影響要因（共同、平成31年2月、がん看護学会）／4.頭頸部がん患者の化学
 放射線療養に伴う口腔粘膜圏の痛みのマネジメントにおける看護師の困難（共同、平成31年2月、がん
 看護学会）
 <学会座長就任状況>1.倫理的な組織文化を育むために（平成30年6月、第20回日本医療マネジメント
 学会）／2.終末期ケアのエビデンス（平成30年6月、第23回日本緩和医療学会）
 <論文査読・学会抄録査読>1.日本がん看護学会（4件、第33回日本がん看護学会）／2.日本緩和医療
 学会（15件、第24回日本緩和医療学会）／3.日本看護科学学会誌（3件）／4.日本看護科学学会誌（4
 件、第38回日本看護科学学会）／5.日本死の臨床研究会（1件）
 <学会役員就任状況>日本ホスピス緩和ケア協会（理事）／日本緩和医療学会（代議員）／日本死の臨
 床研究会（編集委員）／日本緩和医療学会北海道支部（運営委員）／日本がん看護学会（代議員）／日
 本看護科学学会（和文査読委員）／日本がん看護学会（査読委員）／日本ホスピス緩和ケア協会北海道
 支部（役員）
 <学術集会運営>日本統合医療学会／日本緩和医療学会北海道支部大会
 <所属学会・研究会>日本緩和医療学会／日本がん看護学会／日本死の臨床研究会／日本看護科学学会
 ／日本老年看護学会／日本ホスピス緩和ケア協会／European Association for Palliative Care
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>将来に亘って持続可能ながんの療養に関する情報 原稿査
 読（痛み）（厚労科研）／将来に亘って持続可能ながんの療養に関する情報 原稿査読（悪心・嘔
 吐）（厚労科研）／SPACE-Nフォローアップ研修会（平成30年7月、日本ホスピス緩和ケア協会）／
 ELNEC-J高齢者プログラム（平成30年7月28日～30日、北海道看護協会）／ELNEC-Jコアカリキュ
 ラム看護師教育プログラム「エンド・オブ・ライフ研修会」（平成30年8月22日～24日、北海道看護協
 会）／専門的緩和ケア看護師教育プログラム 進行役（平成30年9月～12月、日本ホスピス緩和ケア協
 会）／ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム モジュール4（平成30年11月3日、北海道
 がんセンター）／ELNEC-J指導者養成プログラム 講師 ファシリテーター（平成31年2月16日～17
 日、日本緩和医療学会）

中村 恵子

<受賞等>1.第20回総会において学会功労者表彰を受ける（平成30年8月、(社)日本災害看護学会）
 <学術論文>1.Evaluation of inter-rater reliability and accuracy of the fall Risk Behavior Assessment
 Tool (FABA-Tool) for Prediction of prediction of The risk of fall（共著、平成30年6月、Journal of
 Medical Safety）
 <学会発表>1.大学と地方の病院をスカイプによる遠隔授業で繋いだ中堅看護師研修の実践報告（共
 同、平成30年8月、日本看護学教育学会第38回学術集会）／2.学生が看護師と共に学んだ授業の意味



- 看護倫理学の授業を遠隔地とつないだ教育実践から- (共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第38回学術集会) / 3. 経験3年以下の看護師が手術室勤務を継続する過程 (共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会学術集会) / 4. コーパス分析に基づく救急看護教育支援のために看護学生の実習記録から抽出した600語 (共同、平成30年10月、日本救急看護学会学術集会) / 5. A大学認定看護管理者教育課程サードレベルにおける効果と課題第1報受講修了後の活動状況 (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会) / 6. A大学認定看護管理者教育課程サードレベルにおける効果と課題第2報受講修了生の認識に視点をあてて (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会) / 7. Identifying direct care competencies of the critical care certified nurse specialist in Japan (共同、平成31年1月、EAFONS Conference (シンガポール))

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本看護管理学会誌 (6件、(-社)日本看護管理学会) / 2. 日本看護科学学会 (5件、(公)日本看護科学学会) / 3. 日本看護学教育学会誌 (4件、(-社)日本看護学教育学会)

<学会役員就任状況> (公)日本看護科学学会 (社員) / (-社)日本看護管理学会 (社員) / (-社)日本看護学教育学会 (社員) / NPO法人地域の包括的な医療に関する研究会 (理事、社員 (評議員))

<所属学会・研究会> (-社)日本看護研究学会 / (-社)日本看護学教育学会 / (-社)日本看護管理学会 / (-社)クリティカルケア看護学会 / (公)日本看護科学学会 / (-社)日本救急看護学会 / (-社)日本臨床救急医学会 / NPO法人地域の包括的な医療に関する研究会 / 北の療養環境研究会 / Doコーチング研究会

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 看護職への啓発・研修 (医療安全ワークショップ) 講師「職場のパワーハラスメントー行き過ぎる指導」 (平成30年12月1日、北海道看護協会)

猪股 千代子

<学会発表> 1. CARING potential of a multidisciplinary collaborative health promotion program using music and nursing therapy, and introduction of the “HAMANASU” Music & Nursing Therapy Association (単独、平成30年12月、The 6th World Integrative Medicine Congress (WIMCO 2018), co-hosted by Chinese Association of Integrative Medicine and Shanghai Association for Science and Technology.)

<学会招聘講演> 1. ケアリングと癒しの統合医療看護の探究 (大会長講演) (単独、平成30年10月、日本統合医療学会)

<学会座長就任状況> エビデンスとナラティブに基いた医療とケアーその人にとっての最善を考える (単独、平成30年6月、日本医療マネジメント学会) / 日本統合医療学会サマーセミナー (単独、平成30年7月、日本統合医療学会) / 人工知能とインテグラティブヘルス (単独、平成30年10月、日本統合医療学会) / IMJ理事長としての6年間 (単独、平成30年10月、日本統合医療学会)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本統合医療学会誌 (5件、日本統合医療学会) / 2. 日本医療マネジメント学会誌 (5件、日本医療マネジメント学会)

<学会役員就任状況> 日本統合医療学会 (理事) / 日本看護管理学会 (評議員) / 日本医療マネジメント学会 (評議員) / 日本統合医療学会北海道支部 (副会長) / 日本統合医療学会北海道統合医療研究会 (会長) / ハマナス音楽&看護療法研究会

<学術集会運営> 第22回日本統合医療学会学術大会 (2018年、札幌) / 第18回日本ヨーガ療法学会研究総会 (2020年札幌) 誘致決定し準備

卯野木 健

<学術論文> 1. Physical restraints in intensive care units: a national questionnaire survey of physical restraint use for critically ill patients undergoing invasive mechanical ventilation in Japan (共著、平成30年12月、Acute Med & Surg)

<その他の論文> 1. のどの渇き もっときちんと評価すべき患者のつらい症状 (平成30年5月、ICNR) / 2. PICSの理解に向けて (平成30年11月、看護技術) / 3. フィジカルアセスメント総論 (平成31年2月、ICNR) / 4. 「家族ケア」「家族対応」をめぐって (平成31年2月、ナーシング)

<解説文> 1. 相次ぐインシデントに対する管理者の嘆き (平成30年5月、ICNR) / 2. 蛋白の代謝と必要エネルギー量 (平成30年5月、ICNR) / 3. 研究の意義をどこに見出したら良いのでしょうか (平成30年8月、ICNR) / 4. 投与エネルギーと経路を決めるまで (平成30年8月、ICNR) / 5. 大学院とかに行かずに英語論文を読もうとすることは無謀なことでしょうか (平成31年2月、ICNR)



＜学会発表＞1.人工呼吸中の身体拘束に関する実態と影響因子に関する検討-Webアンケートによる全国調査結果（共同、平成31年2月、日本集中治療医学会学術集会）／2.気管挿管中に強い口渇感を訴えた2症例とその要因に関する文献検討（共同、平成31年2月、日本集中治療医学会学術集会）／3.本邦の鎮静・鎮痛・せん妄管理とPICS予防に関する実態調査（共同、平成31年2月、日本集中治療医学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.クリティカルケア領域の看護師に必要な薬の知識-PADガイドラインから（平成30年10月、日本薬理学会-看護薬理学カンファレンス）／2.集中治療における薬剤有害事象とリスクマネジメント～薬剤の安全管理を考える（平成31年2月、日本集中治療医学会学術集会）

＜学会招聘講演＞1.急性脳機能障害（平成30年8月、日本集中治療医学会関東甲信越地方会）／2.Post-Intensive Care Syndrome（平成30年10月、看護理工学会）

＜学会座長就任状況＞クリティカルケア領域における看護師の育成-大人の学びを支援する（平成31年2月、日本集中治療医学会学術集会）／一般演題-リハビリテーション（平成31年2月、日本集中治療医学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.人工呼吸（2件、日本呼吸療法医学会）

＜学会役員就任状況＞日本呼吸療法医学会（社員）／日本呼吸療法医学会（代議員審査委員）／日本呼吸療法医学会（RSTプロジェクト）／日本集中治療医学会（敗血症ガイドライン作成WG）

＜学術集会運営＞日本創傷・オストミー・失禁管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞セミナー開催（日本離床研究会）／セミナー開催等（日本集中治療教育研究会）

小田 和美

＜学会発表＞1.「看護の教育的関わりモデル」開発から23年（共同、平成30年7月、日本慢性看護学会）／2.困った患者と思いませんか？一見せませぬ熟練看護師のプロの技（共同、平成30年9月、日本糖尿病教育・看護学会）／3.糖尿病患者における皮下硬結の有無とインスリン自己注射部位の選択理由との関係（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本保健医療行動科学会（1件、日本保健医療行動科学会）

＜学会役員就任状況＞日本保健医療行動科学会（評議員）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会 北海道大会（平成30年10月）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本保健医療行動科学会／日本糖尿病学会／日本糖尿病妊娠学会／日本看護研究学会／日本看護管理学会／日本慢性看護学会／日本看護学教育学会／日本循環器看護学会／日本がん看護学会／千葉看護学会／日本老年行動科学会／日本心身医学会

菊地 ひろみ

＜その他の論文＞1.多発性硬化症患者の抑うつ症状に対する認知行動療法の試み（共著、平成31年2月、難病と在宅ケア、24巻、11号、pp.13—16）

＜学会発表＞1.Influence of teachers' research-support activities on their own educational-research activities（共同、平成30年7月、6th Annual International conference on Worldwide Nursing）／2.多発性硬化症患者に対する認知行動療法のパイロットスタディ（単独、平成30年7月、第23回日本難病看護学会学術集会）／3.在宅看護学のOSCEによる3年次技術到達度の評価（共同、平成30年8月、第29回日本看護学教育学会学術集会）／4.A survey of clinical nurses' research needs for faculty support（共同、平成30年10月、6th Annual Conference on Management and Social Science）／5.大学の研究支援を受けた看護師の看護実践の成果と課題 ～研究に取り組んだ看護職への調査～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／6.COC事業「まちの健康応援室」利用者がとらえる継続利用の有用性（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／7.COC事業「まちの健康応援室」における有資格ボランティアと教員による継続的な健康づくり支援の内容（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／8.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証～健康関連QOLの視点から～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／9.「まちの健康応援室」の継続利用による健康支援活動の効果検証（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）



＜学会シンポジウム＞1.地域と大学の協働による在宅看護人材育成（平成30年10月、第70回北海道公衆衛生学会学術集会）／2.療養者、家族の不調の背後にあるものを探る（単独、平成30年11月、第23回日本心療内科学会総会・学術大会）

＜学会座長就任状況＞第6群「慢性期看護・在宅看護」（単独、平成30年6月、平成30年度北海道看護研究学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本難病看護学会／日本難病医療ネットワーク学会／日本在宅ケア学会／日本在宅看護学会／日本がん看護学会／日本看護研究学会

＜講演会・講習会活動＞札幌厚生病院看護研究導入講義「看護研究の基本と研究プロセスの理解」（平成30年6月10日、札幌厚生病院看護部）／雇用管理改善交流会「「看護と介護の連携について」～看護と介護の連携で見えてくる高齢化社会への対応策～」（平成31年2月22日、介護労働安定センター）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究支援（札幌厚生病院）／訪問看護スキルアップ講座（札幌市立大学）

喜多 歳子

＜学術論文＞1.保護者による家庭内性教育に関する文献レビュー：家庭内性教育に対する親の意識・実態・影響要因の検討（共著、平成31年3月、北海道公衆衛生雑誌、32巻、2号、pp.35—42）

＜学会発表＞1.交流集会「SCU患者セミナー」を中核とした地域協奏型模擬患者育成システムの検討（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）／2.社会経済状態と18か月の子を持つ母親の育児ストレスとの関連（単独、平成31年1月、日本公衆衛生看護学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.International Archives of Occupational and Environmental Health（1件）／2.北海道公衆衛生雑誌（1件、北海道公衆衛生学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（理事）／日本産業衛生学会北海道地方会（編集委員）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会

＜講演会・講習会活動＞日・フィンランド市民交流セミナー

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞公衆衛生に関する調査研究、活動助成、関係団体との連絡調整、公衆衛生意識の普及啓発等（北海道公衆衛生協会）

定廣 和香子

＜学会発表＞1.Development and diffusion of an Art in Hospital model with spatial therapeutic treatment effects inJapan（共同、平成30年6月、Sigma Theta Tau European Conference）／2.Art in Hospital《風の家/Breathing House》の継続とエビデンス（共同、平成30年11月、アートミーツケア学会）／3.公開講座「SCU患者セミナー」を中核とした地域協奏型模擬患者育成システム（共同、平成30年12月、日本看護科学学会第38回学術集会）

＜学会座長就任状況＞第28回日本看護学教育学会学術集会（平成30年8月、日本看護学教育学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.看護教育学研究（1件、日本看護教育学学会）／2.Japan Journal of Nursing Science（1件、日本看護科学学会）／3.日本看護学教育学会第30回学術集会（6件、日本看護学教育学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護学教育学会（理事）／日本看護教育学学会（看護社会保険連合学会代表）

＜学術集会運営＞日本看護教育学学会第28回学術集会／日本看護学教育学会 実習指導研修会／日本看護学教育学会 教育制度委員会主催講演会／日本看護学教育学会理事会企画 看護はなまる先生 企画・運営／日本看護教育学学会教育活動委員会主催実習指導研修企画・運営

＜所属学会・研究会＞日本看護教育学学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／千葉看護学会／日本精神保健学会／Sigma Theta Tau International

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞実習指導研修会 講師（日本看護学教育学会）／専任教員養成講習会 看護論 講師（北海道看護協会）

大野 夏代

＜その他の論文＞1.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の効果（第1報）ーコピー



ング特性,精神健康度,気分状態による評価一(共著、平成30年4月、日本看護学会論文集 看護管理(2018)、pp.165—168) / 2.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の効果(第2報)一研修後の語りから一(共著、平成30年4月、日本看護学会論文集 看護管理(2018)、pp.169—172)

<学会発表> 1. Clinical nursing research with the support of university teachers: Results of cooperation that were recognized by hospital nurse managers (共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference) / 2. Clinical nursing research with the support of university teachers: Administrative achievements that were noticed by hospital nurse managers (共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference) / 3. 臨地でのマッサージに必要なリスクマネジメント(共同、平成30年8月、日本応用心理学会第85回大会) / 4. 家族を勇気づける「触れるケア」の実践と課題(共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会) / 5. グローバル化の中で求められる「国際看護の基礎」をどう育てるか一看護基礎教育課程のチャレンジ(共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会) / 6. 「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価(第4報) ころと身体の辛さによる評価(共同、平成30年10月、第22回日本統合医療学会) / 7. 「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価(第5報) 心と体の変化の記述から(共同、平成30年10月、第22回日本統合医療学会) / 8. A Survey of clinical nurses' research needs for faculty support (共同、平成30年11月、The 6th Annual Conference on Management and Social Science) / 9. 大学の研究支援を受けた看護師の看護実践の成果と課題～研究に取り組んだ看護師への調査(共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本国際看護学会誌第2号(2件、日本国際看護学会)

<学会役員就任状況> 日本国際看護学会(理事) / 日本看護科学学会(国際活動推進委員会委員)

<学術集会運営> 第22回日本統合医療学会

<所属学会・研究会> 日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 日本国際看護学会 / 日本看護学教育学会 / 日本人間工学会看護人間工学部会 / 日本国際保健医療学会 / 日本渡航医学会 / 日本人間工学会 / 日本統合医療学会

貝谷 敏子

<学術論文> 1. 皮膚・排泄ケア認定看護師の組織横断的活動の成果に関する調査 第1報 褥瘡のアウトカムに関する前向き調査(共著、平成30年11月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌、22巻、3号、pp.325—334) / 2. 看護の効率性を評価する(単著、平成31年1月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌、23巻、1号、pp.1—5) / 3. 皮膚・排泄ケア認定看護師の組織横断的活動の成果に関する調査 第2報 創傷のアウトカムに関する前向き調査。(共著、平成31年2月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌、22巻、4号、pp.366—379)

<受賞等> 1. 最優秀査読賞(平成30年8月、日本褥瘡学会)

<学会発表> 1. 創傷・オストミー・失禁管理に関する災害時の困難と支援一東日本大震災時の災害掲示板の分析一(共同、平成30年6月、日本創傷オストミー失禁管理学会) / 2. 看護の効率性を評価する【会長講演】(単独、平成30年6月、日本創傷オストミー失禁管理学会)

<学会座長就任状況> 第27回日本褥瘡学会ランチョンセミナー(平成30年6月、日本褥瘡学会)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本創傷オストミー失禁管理学会【英語】(1件、日本創傷オストミー失禁管理学会) / 2. 第28回日本創傷オストミー失禁管理学会学術集会(6件、日本創傷オストミー失禁管理学会)

<学会役員就任状況> 日本創傷オストミー失禁管理学会(副理事長) / 日本褥瘡学会(評議委員) / 看護理工学学会(査読委員会)

<学術集会運営> 第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 / 第28回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会 / 9th Asia Pacific Enterostomal Therapy Nurse Association

神島 滋子

<学術論文> 1. 札幌市南区における子育て世帯の子育て事情 乳児健診を受診した世帯の実態調査(共著、平成30年7月、SCU Journal)

<学会発表> 1. 我が国の看護師による栄養評価のためのアセスメントに関する文献検討(単独、平成30年7月、日本看護研究学会)



<学会招聘講演> 1. 新人看護師に必要な看護の基本（平成30年7月、日本脳神経看護研究学会北海道地方部会）
 <学会座長就任状況> 一般演題（口演）座長（平成30年7月、日本看護研究学会第28回北海道地方学術集会）
 <論文査読・学会抄録査読> 1. 日本脳神経看護研究学会誌（10件、日本脳神経看護研究学会）／2. 日本脳神経看護研究学会誌（3件、日本脳神経看護研究学会）／3. 日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌（3件、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）
 <学会役員就任状況> 日本脳神経看護研究学会（理事）／日本脳神経看護研究学会（編集委員）／日本脳神経看護研究学会（北海道地方部会会長）
 <学術集会運営> 日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会／日本ニューロサイエンス看護学会／日本脳神経看護研究学会
 <所属学会・研究会> 日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本脳神経看護研究学会／高次脳機能障害学会／日本慢性看護学会／日本ニューロサイエンス看護学会／日本看護学教育学会／日本リハビリテーション看護学会／日本リハビリテーション栄養学会／日本看護管理学会／日本医療情報学会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援> 看護師教育について（北海道女性医師の会）／新人研修会（日本脳神経看護研究学会北海道地方）／病棟スタッフへの指導（平成29年4月～平成30年3月、北海道済生会小樽病院）／看護研究（量的研究の基本）（市立札幌病院）／中堅看護師ステップアップ研修OSCE：研修指導（平成29年8月～平成30年3月、手稲溪仁会病院）／研究発表会 座長（平成31年2月16日、北海道看護協会小樽支部）

菅原 美樹

<その他の論文> 1. 救急看護の実践知をつなぐ（共著、平成31年3月、日本救急看護学会誌、21巻、pp.75—76）
 <学会発表> 1. Identifying direct care competencies of the critical care certified nurse specialist in Japan（共同、平成31年1月、22nd EAFONS）
 <学会座長就任状況> 過大侵襲下にある患者の体液管理の考え方（平成30年7月、第14回日本クリティカルケア看護学会）／救急看護の実践知をつなぐ（平成30年10月、第20回日本救急看護学会）
 <論文査読・学会抄録査読> 1. 日本救急看護学会（4件、第20回日本救急看護学会）／2. 日本クリティカルケア看護学会（5件、第14回日本クリティカルケア看護学会）
 <学会役員就任状況> 日本救急看護学会（医療政策担当理事）／日本クリティカルケア看護学会（評議員 将来構想委員会委員）／看護系学会等社会保険連合（社員）／北のケア環境研究会（運営委員）
 <学術集会運営> 第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会／第22回日本統合医療学会北海道大会
 <所属学会・研究会> 日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本循環器看護学会／日本臨床救急医学会／日本集中治療医学会／日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本看護研究学会／日本災害看護学会／日本看護管理学会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援> トリアージナース育成研修会 9/8-9に実施予定で準備していたが直前に北海道胆振東部地震にて中止（日本救急看護学会）／認定看護分野統合に向けた検討ワーキング委員（(社)日本看護協会）／救急看護（基礎病態）セミナー（日本救急看護学会）／交流集会「救急看護実践の展望」—学会・研究者・実践者の立場から（日本救急看護学会）

藤井 瑞恵

<その他の論文> 1. Influence of teachers' research-support activities on their own educational-research activities（共著、平成30年7月、6th Annual Worldwide Nursing Conference (WNC 2018)、pp.97—103）
 <学会発表> 1. 高齢者 施設入居者の口腔環境と心臓血管リスク因子低下ため基礎的調査～（共同、平成30年6月、日本循環器病予防学会）／2. Clinical Nursing Research with the Support of University Teachers - 1. Results of cooperation that were recognized by hospital nurse managers,（共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference,）／3. Clinical Nursing Research with the Support of University Teachers - 2. Administrative achievements that were noticed by hospital



nurse managers (共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference) / 4. 大学と地方の病院をスカイプによる遠隔授業で繋いだ中堅看護師研修の実践報告 (共同、平成30年8月、看護学教育学会) / 5. 看護基礎教育の講義を中堅看護師とともに学んだ授業に対する学生の反応 Skypeでつないだ遠隔授業を行って (共同、平成30年8月、看護学教育学会) / 6. 看護基礎教育の講義・演習に研修として参加した中堅看護師の学習効果と課題 (共同、平成30年8月、看護管理学会) / 7. 大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修 第1報ーレディネス把握にむけた事前調査ー (共同、平成30年8月、看護管理学会) / 8. 大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修の効果と課題 第2報ー受講者の研修2か月後グループインタビューからー (共同、平成30年8月、看護管理学会) / 9. 大学と病院をつなぐ遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果と課題 第3報ー教育担当者への研修2か月後インタビューからー (共同、平成30年8月、看護管理学会) / 10. インフォメーション・エクステンジ 看護コンソーシアム構築に向けて方策を探るー大学と医療施設のつながりによる継続教育への新たなモデルの提案ー (共同、平成30年8月、看護管理学会) / 11. 特別養護老人ホーム入居者の口腔の状態と機能および口腔管理の実態 (共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会) / 12. 介護福祉施設入居者の口腔状態と機能および口腔管理の実態ー口腔内アセスメントガイドを利用してー (共同、平成30年10月、日本公衆衛生学会) / 13. A survey of clinical nurses' research needs for faculty support (共同、平成30年11月、6th Annual Conference on Management and Social Science) / 14. 大学の研究支援を受けた看護師看護実践の変化ー研究に取り組んだ看護職への調査ー (共同、平成30年12月、日本看護科学学会)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本糖尿病看護教育学会 (2件、糖尿病看護教育学会)

<学術集会運営> 日本創傷オストミー失禁学会 (JOWCM)

<所属学会・研究会> 日本看護科学学会 / 日本看護学教育学科 / 日本慢性看護学会 / 日本糖尿病看護・教育学会 / 日本看護管理学会 / 日本透析医学会 / 日本循環器病予防学会 / 日本疫学会 / 日本公衆衛生学会 / 日本糖尿病学会 / 日本老年医学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 研究支援 (担当①グループ) (平成30年8月10日、以後はメールで指導札幌厚生病院) / 中堅看護師研修 (札幌市内3回)、道東遠隔講義 (1回) 「中堅看護師研修」 (平成30年9月21日、10月26日、11月13日、12月13日看護コンソーシアム参加表明した医療施設)

本田 光

<学術論文> 1. 子育てサロンに参加している母親の「人とつながる力」の因子構造 (共著、平成31年3月、北海道公衆衛生学雑誌、32巻、2号、pp.69—76) / 2. 「北海道における認知症初期集中支援チームの活動」に関する調査 (共著、平成31年3月、北海道公衆衛生学雑誌、32巻、2号、pp.93—101) / 3. 外国人患者に対する診療所の準備状況 (共著、平成31年3月、北海道公衆衛生学雑誌、32巻、2号、pp.137—141)

<著書> 1. 地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド第2版 (共著、平成30年10月、医歯薬出版、9784263237106、pp.44—49、pp.60—70)

<受賞等> 1. 学術奨励賞 (優秀論文部門) (平成31年1月、日本公衆衛生看護学会)

<学会発表> 1. Developing a Scale to Evaluate How Well Mothers with Infants Build Relationships with People in Their Communities (共同、平成30年9月、the 50th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health Conference) / 2. COC事業「まちの健康応援室」における有資格ボランティアと教員による継続的な健康づくり支援の内容 (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会) / 3. COC事業「まちの健康応援室」利用者がとらえる継続利用の有用性 (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会) / 4. 「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証-健康関連QOLの視点から (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会) / 5. 「まちの健康応援室」の継続利用による健康支援活動の効果検証 (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会) / 6. 修士課程における集団・地域支援の実践能力自己評価の2年間の推移-実践能力育成に向けた保健師教育の検討第2報 (共同、平成31年1月、第7回日本公衆衛生看護学会学術集会) / 7. 修士課程における個人・家族支援の実践能力自己評価の2年間の推移-実践能力育成に向けた保健師教育の検討第1報 (共同、平成31年1月、第7回日本公衆衛生看護学会学術集会)

<学会座長就任状況> 一般演題 (口演) 母子保健 / 癌検診 (単独、平成30年10月、第70回北海道公衆



衛生学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Public Health Nursing (2件、Public Health Nursing) / 2.BMC Health Services Research (2件、BMC Health Services Research)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会 (評議員)

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会 / 日本地域看護学会 / 日本看護科学学会 / 日本公衆衛生学会 / 日本産業衛生学会 / 日本農村医学会 / 北海道公衆衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞特別講演会「思いが伝わる質問紙調査のつくり方」(平成31年2月9日、日本看護研究学会北海道地方会)

三上 智子

＜学会発表＞1.モンゴル国における先天性股関節脱臼ハイリスク群への育児指導の技術移転に関する検証(共同、平成30年7月、日本小児看護学会)

＜学術集会運営＞第27回日本創傷オストミー失禁学術集会 / 第97回北海道医学大会 学校保健分科会第53回 北海道学校保健学会

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会 / 日本学校保健学会 / 日本小児保健協会 / 日本看護科学学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護研究学会 / 日本母性衛生学会 / 日本看護管理学会 / 日本育療学会 / 日本新生児看護学会 / 北海道成育看護研究会 / 北海道小児保健研究会

＜講演会・講習会活動＞(株)クレオテック ACU学びシェアキッズワークショップ「小児看護師の仕事にチャレンジ！」(平成30年8月5日)

村松 真澄

＜学術論文＞1.口腔ケアシミュレータモデルの開発に現場が期待することの分析(共著、平成30年6月、日本口腔ケア学会、13巻、1号、pp.43—47) / 2.札幌市南区における子育て世帯の子育て事情乳児健診を受診した世帯の実態調査(共著、平成30年7月、SCU Journal of Design & Nursing、12巻、1号、pp.37—47) / 3.看護師と看護学生の手の使用方の違い 体位変換技術における手指・手掌の接触部位にかかる力に焦点を当てて(共著、平成30年9月、日本看護研究学会、41巻、4号、pp.783—794) / 4.特別養護老人ホームにおける歯科の取り組み—Oral Assessment Guide (OAG) と口腔内状況の変化—(共著、平成30年12月、北海道医療大学歯学雑誌、37巻、2号、pp.97—102)

＜その他の論文＞1.特別養護老人ホームにおける経口摂取支援についての検討(単著、平成30年12月、看護実践の科学、43巻、13号、pp.58—62)

＜学会発表＞1.現場が口腔ケアシミュレータモデルの開発に期待すること(共同、平成30年4月、日本口腔ケア学会15回) / 2.特別養護老人ホームにおける経口摂取支援についての検討(共同、平成30年6月、日本老年歯科学会29回) / 3.呼吸によって動作する人形を制作するワークショップの実施と評価～制作者の呼吸を検出するモジュールの開発とワークショップを通じた検証(共同、平成30年6月、日本デザイン学会第65回春季研究発表大会) / 4. Influence of teachers' research-support activities on their own educational-research activities (共同、平成30年7月、6th Annual Worldwide Nursing Conference (WNC 2018)) / 5. Clinical Nursing Research with the Support of University Teachers - 1. Results of cooperation that were recognized by hospital nurse managers (共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference) / 6. Clinical Nursing Research with the Support of University Teachers - 2. Administrative achievements that were noticed by hospital nurse managers (共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference) / 7. 特別養護老人ホームにおける口腔粘膜ケアがOAGスコアに与える影響に関するpilot study (共同、平成30年7月、第59回 日本歯科医療管理学会総会・学術大会) / 8. The validity of the Japanese version of the oral assessment guide -A survey at a university hospital (共同、平成30年7月、6th Annual Worldwide Nursing Conference (WNC 2018)) / 9. 介護福祉施設入居者の口腔の状態と機能及び口腔管理の実態 日本版OAGを使用して(共同、平成30年10月、日本公衆衛生学会第77回) / 10. 特別養護老人ホーム入居者の口腔の状態と機能及び口腔管理の実態 Oral Assessment Guideを使用して(共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会38回) / 11. 高齢者のアドバンス・ケア・プランニングに関する文献検討(共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会38回) / 12. 認知症高齢者のケアに関する看護基礎教育の文献検討(共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会38回) / 13. A町で生活する高齢者の日本語版



EuroQolに影響を及ぼす要因（共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会38回）／14.積雪期の在住高齢者の外出に対する自己効力感と目的別の外出に対する楽しみの程度との関係（共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会38回）／15.A survey of clinical nurses' research needs for faculty support（共同、平成30年11月、6th Annual Conference on Management and Social Science）／16.老年看護学臨地実習のルーブリック評価表の作成に関する研究（共同、平成30年12月、日本看護科学学会学術集会講演集38回）／17.大学の研究支援を受けた看護師の看護実践の成果と課題 研究に取り組んだ看護職への調査（共同、平成30年12月、日本看護科学学会学術集会講演集38回）／18.大学の研究支援を受けた監護親看護実践の変化 ～研究に取り組んだ看護職への調査～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／19.継続的インタラクションを目的とした要介護高齢者のアート制作と心理評価（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第66回春季研究発表大会）／20.呼気によって動作する人形を制作するワークショップの実施と評価～制作者の呼気を検出するモジュールの開発とワークショップを通じた検証（共同、平成30年6月、日本デザイン学会第67回春季研究発表大会）

＜学会シンポジウム＞1.シンポジウム1：すべての高齢者の口腔ケアを多職種連携で[高齢社会における看護教育の実践]（単独、平成30年5月、第67回日本口腔衛生学会）

＜学会招聘講演＞1.口腔ケアと全人的健康（単独、平成30年9月、日本統合医療学会）

＜学会研究発表＞1.おいしい食事・健康な体をもたらす良い姿勢を保つために－防水性・防汚性コーティングを活用した車椅子用クッションCOTEMALIの開発－)およびポスター・クッション展示,2018.11.28（共同、平成30年11月、SCU産学官金）

＜学会座長就任状況＞一般演題 ポスター 1 看護1（単独、平成30年9月、第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本摂食嚥下リハビリテーション学会（1件、日本摂食嚥下リハビリテーション学会）

＜学会役員就任状況＞日本老年看護学会（評議員）／日本口腔ケア学会（評議員）／日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員）／日本口腔看護研究会（世話人）／日本公衆衛生学会（モニタリング・レポート委員会）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会／第17回日本口腔ケア協会学術集会／第68回日本口腔衛生学会

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会評議員／日本口腔ケア学会評議員／日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員／日本看護科学学会／日本公衆衛生学会／日本看護管理学会／日本看護教育学会／日本地域看護学会／日本看護技術学会／日本認知症ケア学会／看護理工学会／日本在宅ケア学会／日本世代間交流学会会員／日本統合医療学会／日本看護研究学会／日本保健福祉学会／日本老年歯科医学会／日本歯科医学会／北海道歯学会／日本がん看護学会／北海道口腔ケア研究会／日本歯科医療管理学会／日本口腔看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞企画等の相談（年間、旭川口腔ケア普及会）／研究会の企画・実施（年間、飲み込み安心ネット札幌）／認知症の方への食支援の研修会を看護・介護向けに実施「認知症の方への食支援」（平成30年7月29日・8月25日、日本口腔看護研究会）／フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッション、および口腔ケアシミュレータの展示（平成30年9月5日～7日、精密工学会）／フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッションの展示（平成30年10月10日～12日、国際福祉機器展）／フィールドクラブと共同開発した車椅子用クッションの展示「ユニバーサルデザインセミナー」（平成30年4月21日、北のユニバーサルデザイン協議会）／他職種が学べる内容で企画（平成30年5月12日、北海道口腔ケア研究会）／口腔ケアと食支援に関する参加型研修会（平成30年6月30日、浅香山病院）／看護師による口腔ケアと地域連携（平成30年8月5日、山梨県歯科医師会）／食支援研修会（平成30年7月11日、特別養護老人ホームさつなえ）／食支援研修会（平成30年8月30日、特別養護老人ホームあそか）

守村 洋

＜学会発表＞1.精神看護学シミュレーション教育の構築に向けて 一看護学生が模擬患者から受けたフィードバックから－（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第28回学術集会総会）／2.精神看護学シミュレーション教育の構築に向けて 一直接ケア学生と観察学生との比較検討－（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第28回学術集会総会）／3.OSCEによる自殺念慮を抱くうつ病患者へ



の看護実践の評価（共同、平成30年7月、第15回日本うつ病学会総会）／4.精神看護学シミュレーション教育の効果～看護学生が模擬患者と関わることで得たケアへの自信～（共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会）／5.精神看護学シミュレーション教育の効果～模擬患者を導入したロールプレイにおける学習効果の比較～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／6.精神看護学シミュレーション教育の効果-看護学生が模擬患者と関わることの意義-（共同、平成31年2月、第38回日本社会精神医学会）

＜講演会・講習会活動＞メンタルヘルス・スペシャリスト養成講座「精神保健」

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本精神障害者リハビリテーション学会／日本精神保健看護学会／日本救急看護学会／日本臨床救急医学会／日本自殺予防学会／日本うつ病学会／日本看護学教育学会／日本看護技術学会／日本社会精神医学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞平成30年度「生活支援員登録に向けた研修・説明会」の講師（札幌市社会福祉協議会）／札幌市中央区保健福祉課「自立支援協議会中央区地域部会との協働による地域密着型自殺対策事業」における自殺対策勉強会の講師（株式会社 石塚計画デザイン事務所）／平成30年度札幌市学校経営研修の講師 講義「子ども理解に関わる研修」（札幌市教育委員会）／平成30年度札幌市市民後見人養成研修の講師 講演内容「対人援助の基礎」（札幌市社会福祉協議会）／平成30年度 日常生活自立支援事業「生活支援員現任者研修会」の講師 内容「日常生活自立支援事業を利用した地域生活を考える」（札幌市社会福祉協議会）／啓明中学校区 青少年健全育成推進会主催講演会の講師（札幌市立啓明中学校）／自殺予防の取り組み（札幌市教育センター専門研修）／＜社会保険診療報酬算定要件研修＞精神科訪問看護基本療養費算定要件研修（北海道看護協会）／精神療養講座「うつ病とコミュニケーション」（札幌市精神障害者家屋会）／「心の健康」編集委員会（北海道精神保健協会）

渡邊 由加利

＜学術論文＞1. Sex-Related Violence and The Protection of Women's Health In Japan（共著、平成30年6月、Medicine and Law Journal、37巻、2号、pp.353—362）／2.「札幌市南区における子育て世帯の子育ての事情—乳児健診を受診した世帯の実態調査—」（共著、平成30年7月、SCU Journal of Design & Nursing、11巻、1号、pp.53—57）

＜著書＞1.助産師国試対策 スキルアップブック 第3版（共著、平成30年10月、海馬書房、4907921209、pp.124—157、206—249）

＜学会発表＞1.性暴力被害者支援センター北海道SACRACH—センター開設5.5年間の活動実態—（共同、平成30年8月、第37回日本思春期学会学術集会抄録集）／2.産後2週間にある母親のソーシャルサポートとエジンバラ産後うつ病自己調査票得点との関連（共同、平成30年10月、第59回日本母性衛生学会学術集会）／3.「装着型産褥子宮モデル」を使用したOSCE課題「子宮復古の観察」（共同、平成30年10月、第59回日本母性衛生学会学術集会）／4.子宮復古の観察場面での装着型産褥子宮モデル使用による学生が感じた学習効果（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.母性衛生（1件、日本母性衛生学会）／2.母性衛生（11件、日本母性衛生学会）／3.母性衛生（1件、日本母性衛生学会）

＜学会役員就任状況＞日本母性衛生学会（代議員）／北海道母性衛生学会（理事）

＜学術集会運営＞第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本思春期学会／日本看護科学学会／日本助産学会／日本看護教育学会／人間工学学会／日本看護研究学会／母性衛生学会／北海道母性衛生学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞組織強化委員会 委員長（全国助産師教育協議会）／模擬患者養成講座講義（札幌市立大学）／性暴力被害者支援のための研修講座（NPO法人ゆいネット北海道）／シャトル研修（札幌市立大学）／研究の支援（桶谷式乳房管理法研鑽会）／研究の支援（プリモ産婦人科クリニック）／ママサポートタクシーにおける妊産婦の送迎のあり方と対応（第一交通産業株式会社）／模擬患者養成講座（札幌市立大学）／模擬患者学習会（札幌市立大学）

伊東 健太郎

＜学会発表＞1.精神看護学シミュレーション教育の構築に向けて—看護学生が模擬患者から受けたフィードバック—（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第28回学術集会・総会）／2.精神看護



学シミュレーション教育の構築に向けて一直接ケア学生と観察学生との比較検討一（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第28回学術集会・総会）／3.精神看護学におけるシミュレーション教育の効果と質の向上（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第29回学術集会・総会）／4.OSCEによる自殺念慮を抱くうつ病患者への看護実践の評価（共同、平成30年7月、第15回うつ病学会総会）／5.精神看護学におけるシミュレーション教育の効果一看護学生が模擬患者とかわることで得たケアへの自信一（共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会）／6.精神看護学におけるシミュレーション教育の効果一看護学生が自殺念慮のある患者に対する意識と看護実践一（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／7.精神看護学シミュレーション教育の効果一模擬患者を導入したロールプレイにおける学習効果の比較一（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／8.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証～健康関連QOLの視点から～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／9.「まちの健康応援室」の継続利用による健康支援活動の効果検証（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／10.COC事業「まちの健康応援室」利用者がとらえる継続利用の有用性（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／11.COC事業「まちの健康応援室」における有資格ボランティアと教員による継続的な健康づくり支援の内容（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／12.公開講座「SCU患者セミナー」を中核とした地域協奏型模擬患者育成システムの検討（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／13.精神看護学シミュレーション教育の効果-看護学生が模擬患者と関わることの意義-（共同、平成31年3月、第38回社会精神医学会）

＜学術集会運営＞日本心理教育・家族ネットワーク第23回研究集会 準備活動

＜所属学会・研究会＞日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本自殺予防学会／日本社会精神医学会／日本看護研究学会／日本看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞現役看護師を中心とした参加者が当事者研究を行い自身のメンタルヘルスについて分析するための支援「ケアする人が行う当事者研究」、月に1回開催、当事者研究会「ぱちぱちの会」、小松詩織）／医療職者が当事者研究を行い、生きづらさについて共有し分かち合う会の支援、1～2カ月に1回開催、当事者研究「Supaの会」、高橋美帆）

工藤 京子

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌市立大学研究論文集（1件）

＜学会役員就任状況＞日本看護研究学会北海道地方会（事務局、会計）

＜学術集会運営＞第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／日本看護研究学会／日本慢性看護学会／日本看護管理学会／日本看護技術学会／日本認知症ケア学会

櫻井 繭子

＜学会研究発表＞1.産業看護職の労働者への支援における連携の研究動向（平成30年11月、2018年SCU産学官金研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCU Journal Design & Nursing-札幌市立大学研究論文集（1件、札幌市立大学研究論文集）

＜学会役員就任状況＞日本産業衛生学会（看護部会幹事）／日本産業衛生学会北海道地方会（役員）／北海道公衆衛生学会（評議員）／日本産業看護学会（評議員）

＜学術集会運営＞日本産業衛生学会全国協議会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本産業衛生学会／日本公衆衛生看護学会／日本産業看護学会／日本産業精神保健学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本精神保健看護学会／日本フォレンジック看護学会／日本地域看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道産業看護研修会企画・運営（本学で開催）（平成30年11月17日、日本産業衛生学会北海道地方会）／産業看護体系化委員会 北海道ワーキング・グループリーダー（ファシリテーター）（平成31年1月26日～、日本産業看護学会）



高橋 奈美

＜学会研究発表＞1.難病患者の生活をよりよくするために～筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者の人工呼吸器装着をめぐる状況～（平成30年11月、SCU産学官金研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本慢性看護学会誌（1件、日本慢性看護学会）／2.SCU Journal Design & Nursing 札幌市立大学研究論文集（1件、市立大学研究論文集）

＜学会役員就任状況＞日本CNS学会（編集委員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本在宅看護学会／日本在宅ケア学会／日本難病看護学会／日本慢性看護学会／日本専門看護師協議会／慢性疾患看護専門看護師研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞訪問看護における神経難病患者への看護～慢性疾患看護専門看護師の立場から～（平成30年11月、札幌市立大学専門セミナー訪問看護スキルアップ講座2018、講師）

武富 貴久子

＜学会発表＞1.看護師が根拠に基づく看護を実践するための情報リテラシー教育のニーズに関する検討（共同、平成30年7月、第50回日本医学教育学会大会）／2.看護職のHWE特性の解明に向けた前向き研究（共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会）／3.看護職のHealthy Work Environment特性の解明に向けた前向き研究（第2報）：2016・2017年の調査より（共同、平成30年10月、第56回日本医療・病院管理学会学術総会）／4.EBNおよび看護研究の実践環境と教育的課題の検討（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会）／5.SCU患者セミナーを中核とした地域協奏型模擬患者育成システムの検討（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会）

＜学会シンポジウム＞1.Nursing students' satisfaction of the clinical learning environment and its related factors in Japan（共同、平成30年9月、CLES2018 Symposium）

＜学会座長就任状況＞看護師教育（平成30年7月、第50回日本医学教育学会大会）／血管看護の多様性（平成30年10月、第59回日本脈管学会総会）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護教育学学会／日本看護研究学会／日本医学教育学会／日本医療・病院管理学会／日本血管看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究支援（道内病院）／OSCE支援（北海道大学）

原井 美佳

＜学術論文＞1.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動ー「まちの健康応援室」継続利用による効果検証ー（共著、札幌市立大学研究論文集2019）

＜実務関係報告書＞1.平成30年度札幌市立大学看護学部キャリア支援委員会活動報告書（共著、平成31年3月、札幌市立大学、pp.1ー61）

＜調査研究報告書＞1.寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発 第3回いきいき健康塾 報告書（共著、平成31年3月、札幌市立大学、pp.1ー31）

＜学会発表＞1.Investigation of urinary incontinence in Japanese elderly women 75 to 90 years old.（共同、平成30年8月、ICS2018（フィラデルフィア））／2.特別豪雪地帯の高齢者を対象とした学官連携による健康啓発事業の実践報告（共同、平成30年10月、第77回日本公衆衛生学会総会）／3.特別豪雪地帯に居住する高齢者への健康教育実施の一考察（共同、平成30年10月、第77回日本公衆衛生学会総会）／4.「まちの健康応援室」の継続利用による健康支援活動の効果検証（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／5.COC事業「まちの健康応援室」における有資格ボランティアと教員による継続的な健康づくり支援の内容（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／6.COC事業「まちの健康応援室」利用者がとらえる継続利用の有用性（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／7.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証～健康関連QOLの視点から～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／8.老年看護学臨地実習のルーブリック評価表の作成に関する研究（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議委員）

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会／日本老年泌尿器科学会／日本排尿機能学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本産業カウンセラー協会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本



コンチネンス協会／札幌市介護支援専門員連絡協議会／全国福祉用具専門相談員協会

檜山 明子

＜学術論文＞1.病院で行われている注射準備時の針交換の現状と課題（共著、平成30年4月、日本看護技術学会誌、17巻、pp.18—25）／2.Falling in Hospitalized Patients under the Influence of Soporific Agents: An Analysis of Public Adverse Event Reports on the Web（共著、平成30年4月、Journal of Medical Safety、2018巻、pp.12—21）／3.Evaluation of inter-rater reliability and accuracy of the Fall Risk Behavior Assessment Tool (FRBA-Tool) for prediction of the risk of fall（共著、平成30年4月、Journal of Medical Safety、2018 巻、pp.22—28）／4.精神科病棟に従事する看護師のための疼痛アセスメント自己評価尺度の開発（共著、平成30年6月、日本精神保健看護学会誌、27巻、1号、pp.21—31）／5.札幌市南区における子育て世帯の子育て事情・乳児検診を受診した世帯の実態調査（共著、平成30年7月、SCU Journal of Design & Nursing、12巻、1号、pp.37—47）

＜学会発表＞1.療養環境における入院患者の快・不快感に関する研究 その 1. 病床の熱環境と患者の快・不快感（共同、平成30年6月、日本建築学会北海道支部研究発表会）／2.Influence of Teacher's Research Support Activities on Educational Research Activities of Teachers Themselves（共同、平成30年7月、Worldwide Nursing Conference2018）／3.Clinical Nursing Research with the Support of University Teachers - 1. Results of cooperation that were recognized by hospital nurse managers（共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference）／4.Clinical Nursing Research with the Support of University Teachers - 2. Administrative achievements that were noticed by hospital nurse managers（共同、平成30年7月、21st World Nursing Education Conference）／5.Brief in-lecture venipuncture technique simulation training for nursing students（共同、平成30年9月、4th International Conference on Education, Psychology and Society & ASMSS）／6.綿タオル及び化繊ディスプレイザブルタオルを用いた清拭の保温性とリラククス効果の比較（共同、平成30年9月、日本看護技術学会第17回学術集会）／7.A survey of clinical nurses' research needs for faculty support（共同、平成30年10月、6th Annual Conference on Management and Social Science）／8.大学の研究支援を受けた看護師の看護実践の成果と課題～研究に取り組んだ看護職への調査～（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／9.整形外科疾患患者がリハビリ期の病床で受ける照度と明るさ感（共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会学術集会）／10.Factors Associated with Fall Risk Behaviors in Hospitalized Patients（単独、平成31年1月、International Symposium on Social Sciences and Management）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護管理学会誌（1件、日本看護管理学会）／2.日本医療・病院管理学会誌（1件、日本医療・病院管理学会）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護倫理学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／看護総合科学研究会／北のケア環境研究会／日本看護技術学会／日本医療・病院管理学会／看護総合科学研究会／日本看護管理学会／日本精神保健看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞運営委員（事務局）（北のケア環境研究会）

森川 由紀

＜調査研究報告書＞1.助産師教育における客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた教育プログラムの開発・実践—報告書—（札幌市立大学助産学専攻科）

＜学会発表＞1.大学と病院をつなぐ遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果と課題第3報（共同、平成30年8月、日本看護管理学会）／2.大学と病院をつなぐ遠隔授業を用いた中堅看護師研修の企画・運営（共同、平成30年8月、日本看護管理学会）／3.大学と病院をつなぐ遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果と課題第2報（共同、平成30年8月、日本看護管理学会）／4.学生が看護師とともに学んだ授業の意味（共同、平成30年8月、日本看護教育学会）／5.「装着型産褥子宮モデル」使用前後のOSCE課題「子宮復古の観察」結果の検討（共同、平成30年10月、日本母性衛生学会）／6.子宮復古の観察場面での「装着型産褥子宮モデル」使用による学生が感じた学習効果（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）

＜学会シンポジウム＞1.看護コンソーシアム構築に向けて方策を探る（平成30年8月、日本看護管理学会）



矢野 祐美子

<学会発表> 1. 大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修 第1報-レディネス把握にむけた事前調査- (共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会) / 2. 大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修の効果と課題 第2報-受講者の研修2か月後グループインタビューから- (共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会) / 3. 大学と病院をつなぐ遠隔授業を用いた中堅看護師研修の効果と課題 第3報-教育担当者への研修2か月後インタビューから- (共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会) / 4. 看護基礎教育の講義・演習に研修として参加した中堅看護師の学習効果と課題 (共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会) / 5. 看護コンソーシアム構築に向けて方策を探る-大学と医療施設のつながりによる継続教育支援への新たなモデル展開- (共同、平成30年8月、第22回日本看護管理学会) / 6. 学生が看護師とともに学んだ授業の意味 看護倫理学の授業を遠隔地とつないだ教育実践から (共同、平成30年8月、第28回日本看護学教育学会) / 7. 大学と地方の病院をスカイプによる遠隔授業で繋いだ中堅看護師研修の実践報告 (共同、平成30年8月、第28回日本看護学教育学会) / 8. A大学認定看護管理者教育課程サードレベルにおける効果と課題 第1報 -受講修了後の活動状況- (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会) / 9. A大学認定看護管理者教育課程サードレベルにおける効果と課題 第2報 -修了生の認識に視点をあてて- (共同、平成30年12月、第38回日本看護科学学会)

<学会研究発表> 1. 大学と病院を遠隔授業でつなぐ中堅看護師研修の効果と課題-受講者の研修後グループインタビューから- (平成30年11月、SCU産学官金研究交流会)

<論文査読・学会抄録査読> 1. 第22回日本看護管理学会学術集会 (7件、日本看護管理学会) / 2. 日本看護管理学会誌 (1件、日本看護管理学会)

<学術集会運営> 第22回日本統合医療学会学術大会 / 日本創傷・オストミー・失禁管理学会第27回学術集会

<所属学会・研究会> 日本看護管理学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護評価学会 / 日本医療・病院管理学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 実習指導者研修1・プリセプター研修1 (平成31年1月29日、苫小牧市立病院)

山本 真由美

<調査研究報告書> 1. 看護実践能力を向上させるための教材開発と評価-装着型産褥子宮モデル- (共著、平成31年3月、札幌市立大学) / 2. 助産師教育における客観的臨床能力試験 (OSCE) を用いた教育プログラムの開発・実践-報告書- (共著、平成31年3月、札幌市立大学 助産学専攻科)

<学会発表> 1. 「装着型産褥子宮モデル」使用前後のOSCE課題「子宮復古の観察」結果の検討 (共同、平成30年10月、日本母性衛生学会) / 2. 第1子・第2子誕生における父親の家族に対する思いの比較 (共同、平成30年10月、北海道母性衛生学会) / 3. 子宮復古の観察場面での「装着型産褥子宮モデル」使用による学生が感じた学習効果 (共同、平成30年12月、日本看護科学学会)

<学会座長就任状況> 一般演題 第II群 (3題) (平成30年10月、北海道母性衛生学会)

<学術集会運営> 第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会

<所属学会・研究会> 日本助産学会 / 日本母性衛生学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護管理学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護研究学会 / 日本看護技術学会 / 日本看護理工学会 / 北海道母性衛生学会

石引 かずみ

<調査研究報告書> 1. 看護実践能力を向上させるための教材開発と評価-装着型産褥子宮モデル- (共著、平成31年3月、札幌市立大学) / 2. 助産師教育における客観的臨床能力試験 (OSCE) を用いた教育プログラムの開発・実践-報告書- (共著、平成31年3月、札幌市立大学 助産学専攻科)

<学会発表> 1. 「装着型産褥子宮モデル」使用前後のOSCE課題「子宮復古の観察」結果の検討 (共同、平成30年10月、第59回 日本母性衛生学会総会・学術集会) / 2. 子宮復古の観察場面での「装着型産褥子宮モデル」使用による学生が感じた学習効果 (共同、平成30年12月、第38回 日本看護科学学会学術集会)

<所属学会・研究会> 日本助産学会 / 日本母性衛生学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 日本フォレンジック看護学会



柏倉 大作

＜学術集会運営＞第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護教育学会／日本看護理工学会／北海道クリティカルケア研究会

＜講演会・講習会活動＞2018年6月2日に北海道クリティカルケア研究会とアボット株式会社と共同で「栄養療法実践のための症例検討～初級編～」を運営／2018年7月7日に北海道クリティカルケア研究会と日本集中治療教育研究会看護部会と共同で「ICUの若手看護師に一步踏み込んで知ってもらいたいこと」のセミナーを運営

近藤 圭子

＜学会発表＞1.特別豪雪地帯の高齢者を対象とした健康啓発事業「いきいき健康塾」の実践報告（共同、平成30年10月、日本公衆衛生学会）／2.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証～健康関連QOLの視点から～（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）／3.「まちの健康応援室」有資格ボランティアとの協働による健康支援活動の効果検証（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）／4.COC事業「まちの健康応援室」における有資格ボランティアと教員による継続的な健康づくり支援の内容（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）／5.COC事業「まちの健康応援室」利用者がとらえる継続利用の有用性（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）／6.CORRELATION OF HEALTH-RELATED QUALITY OF LIFE AND SELF-EFFICACY AMONG ELDERLY PEOPLE LIVING AT HOME（共同、平成31年1月、22nd East Asian Forum of Nursing Scholars）／7.在宅高齢者のうつの可能性とソーシャルキャピタルに関する研究（共同、平成31年1月、日本公衆衛生看護学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜学術集会運営＞日本統合医療学会

＜所属学会・研究会＞日本プライマリ・ケア連合学会／日本在宅ケア学会／日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本看護科学学会／北海道公衆衛生学会／日本公衆衛生学会

田中 里江

＜学術論文＞1.地域保健活動におけるソーシャル・キャピタルの醸成を意図した保健師活動（共著、平成30年4月、北海道公衆衛生学会誌、31巻、2号、pp.93—99）

＜受賞等＞1.日本公衆衛生看護学会 学術奨励賞 優秀論文部門（平成31年1月、(社)日本公衆衛生看護学会）

＜学会発表＞1.定山溪におけるヘルスツーリズム（共同、平成30年10月、日本統合医療学会）／2.若手保健師が語り合い・育ちあう会（共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会）／3.がんサバイバーの就労に関する社会的問題とその支援についての文献検討（共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会）／4.高齢者の日常生活における笑いの意識とQOLについての研究（共同、平成30年10月、北海道公衆衛生学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会学術集会（実行委員）

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本学校保健学会／看護総合科学研究会／日本統合医療学会

牧田 靖子

＜その他の論文＞1.乳児に対する自己抜去防止のための身体抑制（単著、平成30年10月、日総研、13巻、4号、pp.37—43）

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本小児救急医学会／日本小児集中治療研究会／日本子ども虐待防止学会／日本糖尿病教育・看護学会／北海道地域医療研究会／北海道育成看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞小児の怪我や症状の初期判断、下記の応急手当・ケア（擦り傷・切り傷、鼻血、捻挫・打撲、骨折、ひじが抜けたとき、歯が折れたとき、やけど、虫刺され、熱中症、のどを詰まらせたときの対処）「小児の応急手当」（平成30年10月24日、まなびばプロジェクト）



ト)

御厩 美登里

＜学術論文＞1.札幌市南区における子育て世帯の子育て事情—乳児健診を受診した世帯の実態調査—
（共著、平成30年7月、札幌市立大学、12巻、1号、pp.37—47）

＜学会発表＞1.在宅看護学のOSCEによる3年次技術到達度の評価（共同、平成30年8月、日本看護学教育学会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

大友 舞

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本母性衛生学会／日本看護科学学会

＜講演会・講習会活動＞2018年度性暴力被害者診療支援看護職養成講座にて、診察介助方法をインストラクターとして実施「性暴力被害者に対する病院での診察（証拠採取）」（平成30年12月1日 1日間、NPO法人ゆいネット北海道）

鬼塚 美玲

＜学会発表＞1.母親役割を持つ看護師における看護の専門性を発揮できる職場環境の評価（共同、平成30年6月、第20回日本医療マネジメント学会学術総会）／2.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価（第5報）—心と体の辛さによる評価—（共同、平成30年10月、第22回日本統合医療学会学術大会）／3.「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の評価（第6報）—心と体の辛さに—（共同、平成30年10月、第22回日本統合医療学会学術大会）

＜学術集会運営＞第22回日本統合医療学会学術大会／第27回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本防衛衛生学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本統合医療学会／日本医療マネジメント学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究支援（札幌厚生病院）／看護研究支援（自衛隊札幌病院）／院内教育体制構築へ支援（特別養護老人ホームへいわの郷）／事務局運営（広報）、特別講演会の運営（日本看護研究学会北海道地方会）

野呂田 美菜子

＜学会発表＞1.精神看護学シミュレーション教育の構築に向けて—看護学生が模擬患者から受けたフィードバックから—（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第28回学術集会）／2.精神看護学シミュレーション教育の構築に向けて—直接ケア学生と観察ケア学生の比較検討—（共同、平成30年6月、日本精神保健看護学会第28回学術集会）／3.OSCEによる自殺念慮を抱くうつ病患者への看護実践の評価（共同、平成30年7月、第15回うつ病学会総会）／4.精神看護学におけるシミュレーション教育の効果—看護学生が模擬患者と関わることで得たケアへの自信—（共同、平成30年8月、日本看護学教育学会第28回学術集会）

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本精神保健看護学会／日本シミュレーション医療教育学会

渋谷 友紀

＜学会発表＞1.Development and diffusion of Art in Hospital model with spatial therapeutic effects in Sapporo Japan（共同、平成30年6月、STTI）／2.Art in Hospital《風の家》の継続とエビデンス（共同、平成30年11月、アートミーツケア学会）／3.公開講座「SCU患者セミナー」を中核とした地域協奏型模擬患者育成システムの検討（共同、平成30年12月、日本看護科学学会）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞Sapporo SantaRunの活動支援、SantaRunイベント運営、病院訪問「SapporoSantaRun：12月8日、病院訪問12月19日、21日」（平成30年6月～平成31年2月、SantaFun事務局）

**高橋 葉子**

＜学会発表＞1.療養環境に対して看護師が実施する効果的な環境整備（共同、平成30年9月、日本看護技術学会）

＜所属学会・研究会＞日本看護技術学会／日本看護研究学会／日本看護科学学会／日本新生児看護学会

中田 亜由美

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本在宅ケア学会／日本老年看護学会／日本公衆衛生学会／日本小児保健協会／北海道成育看護研究会／看護総合科学研究会

「札幌市立大学のシンボルマークについて」

札幌市立大学のシンボルマークは、
英国の著名なクリエイティブグループtomatoの
ジョン・ワーウィッカー氏によってデザインされました。
雪の結晶のイメージは、札幌の自然環境を特徴づけると共に、
大学での学習過程を図像的にあらわしたものです。(登録商標)



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学年報 平成30年度 第13号

編 集 広報室

担 当 事 務 経営企画課

発 行 日 令和元年12月1日

発 行 行 札幌市立大学

〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 FAX : 011-592-2369

URL <https://www.scu.ac.jp>